

2020  
ISSN 0918-8711  
No.41

# GOLD & PLATINUM



# GOLD & PLATINUM



## C O N T E N T S

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 巻頭言                            | 3  |
| 設立40周年に寄せて                     | 4  |
| 協会設立40周年 特別座談会                 | 5  |
| ドル建て金価格の「温故知新」                 | 12 |
| 白金族鉱床、大発見                      | 16 |
| <b>Column 1</b> 黄金輝く古代中国文化     | 21 |
| グローバル経済の危機                     | 22 |
| <b>Column 2</b> 名作に見る金貨2題、銅貨1題 | 25 |
| 写真で見る驚きのゴールド                   | 26 |
| 我が社の宝物(貴金属の未来を切り拓く)            | 30 |
| 投資需要が牽引する高値更新<br>—— その背景と持続性   | 32 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 自分だけの意味を込めたプラチナ・ジュエリー<br>PGIの新キャンペーン | 36 |
| 金価格[月間平均]の長期推移と主なイベント                | 40 |
| 日本金地金流通協会・沿革と活動                      | 44 |
| 協会役員の紹介                              | 44 |
| 正会員                                  | 45 |
| 特別会員                                 | 46 |
| 登録店                                  | 47 |
| 賛助会員                                 | 51 |

\* 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、リフィニティブ GFMSの需給レポート2020年版は未発表のため、本冊子においても「2019年世界のゴールド及びプラチナの供給と需要データ」は掲載しておりません。

表紙画像：黄金のアフリカ大陸ベクター・イラストレーション by Michael Rayback  
編集・デザイン：株式会社 麴町ディレクション(澤田直良、木下裕之) / イラストレーション：haruka  
写真提供：独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) / 撮影：高山 透、児島一伸

## 巻頭言

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された方々およびそのご家族、感染拡大により日常生活に影響を受けられておられる全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、当協会は1980年に活動を開始して以来、貴金属の健全な流通機構の整備と正しい知識の普及を推進してきましたが、おかげさまで今年40周年を迎えることができました。

近年、各国による積極的な金融緩和や財政出動が金相場高騰の強い追い風となり各国通貨建てでも歴史的な高値を記録するなど、世界中で金が脚光を浴びています。このような中で当協会では会員に対して、犯罪収益移転防止法、消費税法改正などの周知徹底および注意喚起等を継続して行うことで、一般消費者が正しく、安心して金を売買できるように経済産業省や関係省庁と連携して環境整備に取り組んでおります。今後とも当協会の活動にご理解いただき、益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



一般社団法人  
日本金地金流通協会  
会長 田苗 明



# 一般社団法人日本金地金流通協会 設立40周年に寄せて



経済産業省 資源エネルギー庁  
資源・燃料部 鉱物資源課長

小林 和昭

一般社団法人日本金地金流通協会が設立40周年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

この間、我が国は、高度経済成長から円高不況、バブル経済の崩壊、リーマンショックに端を発する世界的な金融危機、未曾有の震災や度重なる風水害、そして、現下のコロナ禍など、大きな変化を経験してきました。

1978年4月の金取引の自由化以降、取引が活発化し、投資商品としての関心が高まる一方で、現物まがい商法などによる被害が社会問題化するなど、様々な困難を抱えた状況の中、1979年12月、貴協会は、我が国の健全な金・貴金属流通を推進する中心的な役割を果たす機関として設立されました。

貴協会設立以降、本誌「GOLD & PLATINUM」の出版やパンフレットの配布等による広報活動、各種講演会、あるいは研修会の開催による普及・啓発事業の実施により、金及び貴金属地金の正しい知識の普及や健全な取引を推奨され、重要な役割を果たしてこられました。

また、消費税率の引き上げと金価格上昇に伴い社会問題化してきた金密輸問題や、複雑化するマネーロンダリング対策などについても、常に先頭に立って取り組んでこられました。

貴協会におかれましては、会員各社協力の下、今後とも金及び貴金属の健全な取引を推進していただき、一般消費者が安心して安全な取引ができる環境づくりに、引き続き貢献されることを期待しています。

末筆ながら、これまでの貴協会及び関係各位の御尽力に改めて敬意を表しますとともに、会員の皆様の益々の御発展を遂げられますことを心よりお祈り申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。



# 貴金属の健全な流通機構の整備と 正しい知識の普及のために

日本金地金流通協会が40周年を迎えた今年、国内金相場は40年ぶりに史上最高値を更新した。  
コロナ禍のなか、十分な対策を講じた上で、市場と業界の過去と現在、  
そして未来について、協会メンバーに縦横に語り合っていた。

注) 当座談会は、三密を回避して十分な感染拡大防止策を講じた上で、7月9日(木)、田中貴金属工業本社会議室にて開催された。

40<sup>th</sup>  
Anniversary  
Japan Gold Metal Association



## 出席者

田苗 明 (当協会会長)  
中村 茂幸 (当協会副会長)  
大浦 良幸 (当協会副会長)

山口 純 (当協会理事/前会長)  
井嶋 隆之 (当協会理事/広報委員長)  
佐久間 あすか (司会・進行)



## 会長

田中貴金属工業株式会社  
代表取締役会長

田苗 明

**佐久間** 金が世界中で注目されている時期に、日本金地金流通協会設立40周年の記念座談会の司会という大役を賜りまして、とても嬉しく思います。最初に、協会設立の趣旨や役割について、田苗会長からお話を伺います。

**田苗** よろしくお祈いします。設立当時の経緯をざっとお話しします。日本において金の輸出入が完全に自由化されたのは1978年(昭和53年)のことです。当協会は翌年の12月に設立され、まだ生まれて間もない国内貴金属市場とともに歩んでまいりました。

関係各位のご支援のもと、所期の目的である「貴金属の健全な流通機構の整備」と「貴金属に関する正しい知識の普及」を着実に進めてまいりました。また、世界の貴金属流通機構の一つとしても大切な役割を果たしてきたと思います。

2003年には、マネーロンダリング対策の国際基準を策定し監視を行なうFATF(\*1)の勧告により、非金融業として宝石貴金属等取扱事業者も特定事業者指定されました。それ以降、法令の改正により規制が強化され、事業者の法令遵守が今まで以上に強く求められるようになりました。広報機関を有する当協会は、貴金属業界への周知徹底と注意喚起について関係省庁からの期待に応えておりますが、その役割はますます高まってきております。

**佐久間** 信頼性を保つために、協会が一致団結して歩んで来られたということですね。では、協会設立当初からのメンバーでいらっしゃる大浦副会長に伺いたいのですが、設立時から現在に至る貴金属市場の変化や印象的な出来事など

について教えていただけますか。

**大浦** 協会が設立された1979年は、激動の年でした。2月に第二次オイルショックがあり、12月には旧ソビエト連邦によるアフガニスタン侵攻がありました。世界の緊張が一気に高まり、金相場は翌年1月21日に1gあたり6,495円という最高値を記録しました(\*2)。

私がこの業界に入ったのは1984年ですが、その当時から金相場は下がり続けましたので、金相場は下がるものだと思っておりました(笑)。ところが1999年9月に欧州中央銀行が金の売却に制限をかけ、それがキッカケとなって金相場の下落に歯止めがかかりました。

2000年4月には米国ITバブルが崩壊、翌年9月には米国同時多発テロが発生するなど、金に注目が集まる事態が続き、金相場は上昇トレンドに転換しました。2008年のリーマンショックでは、一時はあらゆる金融商品が売られました。金の場合はずぐに上昇に転じ、2011年にドル建てで1900ドルを超える水準にまで到達しました。ところが、ふたたびドルが強い状況に転じドル建て金相場はいったん落ち着いて下がりましたが、日本国内ではドル高円安が進みましたので、円建てではずっと高止まりで推移しておりました。

それが米中覇権争いで、ふたたび世界に緊張が高まっていたところへコロナ禍が襲い、各国とも大規模な金融緩和や財政出動を余儀なくされ、今また金に注目が集まっているという状況です。要するに金相場というのは、つねに世界の情勢と連動して動いているということです。

\*1: マネー・ロンダリング(資金洗浄)対策における国際協調を推進するため設立された政府間機関(政府間協会)。

\*2: 当座談会の18日後、7月27日(月)に円建て金価格は史上最高値を更新した。



## 副会長

大浦貴金属工業株式会社  
代表取締役社長

大浦 良幸

**佐久間** 大浦副会長、一筆書きのように40年を概観していただき、ありがとうございます。大きな流れがすっきり把握できました。他の皆さまは同世代ということですが、なにか印象的な出来事などありましたらお聞かせください。

## 密輸品はシャットアウト ここに協会全体で注力

**山口** やはり、消費税率が5%から8%に引き上げられた2014年頃からクローズアップしてきた密輸の問題でしょう。海外で購入された金地金が、日本に密輸され、消費税が詐取(さしゅ)される犯罪が横行していることです。詐取される消費税額は年間で百億円を超える規模に及ぶとされます。それに対して当協会は毅然たる態度で臨み、経済産業省とも足並みをそろえて対策を実行してまいりました。

**佐久間** 密輸の問題は、たまにニュースでも取り上げられますね。

**山口** 空港での対策強化は進んでいます。しかし海洋では、一方が荷物を海中に沈め、他方がGPSを利用して引き揚げるという手口で、取締は困難をきわめる状況にあるようです。

**佐久間** それはまた巧妙な手口ですね。

**山口** 貴金属現物が消費税の課税対象になっていること自体に、密輸問題の根っこがあることは否めません。流通段階だけでなく、根本的な問題解決が求められるところかなと思います。

**佐久間** 信頼性の担保はとても大切ですものね。中村副会長はいかがですか。

**中村** 40年前を振り返ると、私はまだ10歳の

子供でした(笑)。とても金のことなど意識する年齢ではありませんでしたが、豊田商事の金をめぐる巨大詐欺事件は強く印象に残っております。後年、あの事件が協会設立のきっかけでもあったと知り、健全な流通機構の整備がいかに重要なことか改めて痛感しました。

私自身は貴金属業界に入るまで石油業界にいました。外から低調な金相場を見ていたわけですが、2011年に貴金属業界に入って以降、金相場はずっと上昇を続けております。ですから大浦副会長とは反対に、金相場は上がるものだという認識を私は持っております(笑)。また、金相場は、有事で上がるだけでなく、金融経済リスクにも反応する度合いが高まっており、金にはコモディティ(商品)とマネー(通貨)の両面があるという印象を強く持つに至っております。そういう意味で、関連知識の普及がいっそう大切になってきていると感じております。

**井嶋** 私も協会の業務に携わって10年余りですが、その間、広報委員長も務めさせていただき、新聞、雑誌、ポスター、パンフレット、さらにウェブサイトなどを通じて、一般の方々に貴金属関連の知識を持っていただくように活動してまいりました。ただ、金相場はすでに最高値の水準に上昇しており、古くから金地金(きんじがね)や金貨を保有されている方々は、売却すれば譲渡益が出る状況にあります。これからますます貴金属取引に関する税金についての周知が重要になるだろうと思っております。

もうひとつ、金に対する認識は昔より改善したものの、まだ一部には「脱税」とか「隠し資産」





## 副会長

石福金属興業株式会社  
代表取締役 社長執行役員

中村 茂幸

といったネガティブなイメージが残っていることも気になります。とくに高齢者の方々には、保有金の売却や利益が出た際の申告をためらうケースがあるようです。広報活動を通じて改善していければ良いと思っております。

**中村** 消費者の方が金やプラチナを購入しやすい環境は整ってきています。株式が不調な際に資金の一部が貴金属市場に入ってくる流れも出来つつあるとも感じます。その意味で、貴金属にダーティなイメージが持たれないように、協会として動かなければならないと思います。

## プラチナが金に価格で負け続ける5年間

**佐久間** その点はとても大切ですね。では、ここから直近の5年間での協会の活動について、お話を伺いたいと思います。

**山口** 現在、協会では、店頭でお客様対応をされる相談員の皆さまに向けた「実務者研修会」を定期的実施しております。これは、専門の講師の方々や関係省庁の方々をお招きして、相場情報から犯罪収益移転防止法などの法律遵守まで、深く学ぶ機会を設けて、正しい知識や姿勢を共有する活動です。

**佐久間** 店頭における消費者への対応力アップということですね。

**山口** もうひとつ印象的ということでは、この5年間でプラチナが金に価格で負ける現象が定着したことでしょいか。

**佐久間** 希少性ではプラチナの方が圧倒的に上なのですけど。

**山口** プラチナは工業用と宝飾用の需要が減少して厳しい状況にあります。その一方、金には通貨として側面に光があたっています。米国ドルの金利低下で金利がつかない金のデメリットが薄れていますし、各国中央銀行が準備資産として金保有を増やしています。有事モードになれば、資産保全で金は求められやすくなります。そういう意味では、プラチナの需要を各社でどのように底上げするか、ひとつ課題ではありますよね。

**井嶋** 日本国内だけを見ると、一般に言われるほどプラチナ需要は減っていないイメージではありますが。

**山口** 中国の需要に目をやると、様相が違ってきますよね。

**田苗** その通りで、日本国内の需要はさほど減っていませんが、中国を入れると世界全体の需要は相当落ち込んでいます。中国の人は合理的で、資産価値が下がったものは好まないという傾向もありますね。

**井嶋** 日本国内でも、高齢の方々には「白金は金より高い本物の貴金属」というイメージが浸透しているようで、高くないと買われにくいという面はあります。もうひとつ、米中覇権争いやコロナ禍の影響で宝飾品の売れ行きが減少しているところもあるでしょうね。

**中村** そういう意味では、この5年くらいで、金とプラチナの主たる用途の違いが一般にも理解されはじめた、とも言えそうですね。

**佐久間** そういう見方もできますか。

**田苗** 5年間の動きについて、もう少し補足さ





## 理事

株式会社徳力本店  
代表取締役社長

山口 純

せてください。2016年にマイナンバー制度が導入されました。これによって、お客様が売却される際に金額が税込みで200万円を超えると、我々事業者は支払調書の記載書類に新たに「マイナンバー(個人番号)」を記載することが義務づけられました。ところが、お客様が個人番号を提示することにまだまだ抵抗感があるという課題があります。

**佐久間** 国民全員に配布された通知カードにも個人番号が記載されていますが、番号を見ることが心配なのでしょうね。政府はマイナンバーカードの普及に努めているものの、10万円の定額給付金の際に明らかになった取得率は16%でした。

**田苗** 仕入れ税額控除の古物商特例についてもお話させてください。財務省がインボイス方式(\*3)を導入することになりましたが、当初の案では、消費者から我々地金商が地金を購入したら、今後事業者は仕入れ税額を控除できないとされました。そうすると、販売するときには消費税をつけ、買い取るときには消費税をつけないことにつながり、消費者に大きな不利益を与えることとなります。そこで、古物の扱いに準ずるように経済産業省から国税庁に交渉していただいて認めていただきました。その結果、消費者が不利益を被ることはなくなりました。

純金積立などに対しても、売却の都度、法令で定められた有効期限内の本人確認書類を取るようという指示がありましたが、口座商品ではその対応が難しいことから、これについても国税庁に適用除外を認めていただきました。

**佐久間** マイナンバー制度もインボイス制度も、実行面で課題があるようですね。

**田苗** もう少し続けますね。このところ宝石貴金属等取り扱い業者による疑わしい取引の届け出件数は、2016年に年間で27件、17年に146件、18年には952件となっています。ところが19年は217件まで減少しています。

**佐久間** 協会の活動が実を結びつつあるわけですね。ところで、新型コロナウイルス感染拡大による影響を実感されているかと思いますが。

**田苗** いろいろ影響が出ています。世界的な感染拡大によって、海外の鉱山会社や精錬所の操業が一時停止したり、航空輸送の大幅な減便にともない物流が停滞したり。国内金市場への影響は軽微だったとはいえ、材料確保などでは厳しい時期もありました。一方、プラチナは3月に税込み小売価格が2008年以来の最安値になったことから現物販売量が急増し、3月単月ですが、当社では過去最高の販売量となりました。

**佐久間** 東京都による休業要請の影響はいかがでしたか。

**田苗** 我々貴金属宝飾品店も一ヶ月ほど店を閉めなくてはなりませんでしたが。ネット取引はできたものの、店頭取引ができなくなり、お客様からお叱りをいただく場面もありました。現在は、三密を回避して感染拡大防止策をしっかり取って営業しておりますが、今後、相場がヒートアップすれば、入場を制限させていただくことがあるかも知れません。

**中村** 東京都からの休業要請とはいえ、お客さまの立場からすると資金が必要なときに売れな

\*3: 仕入れ税額控除の方式の一つで、課税事業者が発行するインボイスに記載された税額のみを控除することができる方式のこと。



## 広報委員長

井嶋金銀工業株式会社  
代表取締役社長

井嶋 隆之

いという状況は、本来あってはならないことで  
すからね。そこは大きな課題を残しましたし、  
あらためてネット取引の重要性を感じました。

**田苗** 消費者の方々もネット取引できるよう  
になさっていると、こういう事態になっても取引  
を継続できるということです。

**大浦** 店頭売買がないというのは、金取引が自  
由化されて初めての経験でしたからね。

**佐久間** これまでにない初めてのことですよ  
ね。他にいかがですか？

## 金への資金の流れは ますます太くなる

**田苗** 新型コロナウイルス対策で、世界各国で  
破天荒な金融緩和と財政出動が実施されていま  
す。国の債務が急速に膨張しているわけで、こ  
れが将来への不安、国に対する信用リスク増大  
につながり、安全資産としての金への資金の流  
れが太くなっていくだろうと見ています。

**佐久間** 国としても個人としても、安全資産と  
しての金への関心は高まっていますね。

**田苗** これまでの経験則では、金がこれだけ高  
い価格水準をつけると、お客様は売りに傾き、  
我々からすると買い一辺倒になったものです。  
しかし、今回のような水準で売りと買いが数量  
的に均衡しているのは、初めての経験です。

**佐久間** 株も保有するけれど、リスク回避とし  
て金も持っておこうという流れですね。コロナ  
禍を契機に、これから日本人の貴金属取引に変  
化は出てくるのでしょうか。今後の展望について  
お聞かせいただけますか。

**山口** このところ貴金属の取引について初心者  
の方からのお問い合わせが増えてきておりま  
す。具体的にどうやって取引したらいいのか、  
金を買ってもどこに保管しておけばいいのか、  
といった内容の問い合わせです。消費者の関心  
は確実に高まってきていることを実感していま  
すし、これから先、貴金属のネット取引もさら  
に活発になるのかなという気はしています。

一方、貴金属ジュエリーの販売は急減してい  
ります。展示会やイベントはすべて無くなりま  
したから、ジュエリーメーカーは苦しい状況に  
あります。ブライダル需要は少し戻っているも  
の、ファッション性の高いものの需要は戻っ  
ていません。

**井嶋** ジュエリーメーカーは週の稼働が2日と  
か3日と聞きます。3月の香港での展示会が中  
止となり、大量の在庫を抱え込んでいらっしや  
います。11月にも香港で開催される予定で  
すが、いまの状況では厳しいかも知れません。そ  
もそも材料である貴金属の価格が上がっている  
ところもジュエリーメーカーには逆風です。

**佐久間** 原価が上がっているわけですね。

**井嶋** ただ、テレビ通販は、そこそこ好調のよう  
です。自粛生活でテレビをご覧になる時間が増  
えたこともあるのでしょうかね。

**佐久間** 女性としてはジュエリーに対する欲求  
はあるのですが、店舗にはなかなか行けな  
いし、やはりネット通販などの強化が課題なの  
でしょうね。

**田苗** コロナ禍においても、当社店頭での地金  
販売の大きな落ち込みはありません。ただし、



## 司会・進行

日経 CNBC キャスター

佐久間 あすか

ジュエリー部門では店頭販売は大きく落ち込んでいる一方、ネット通販は非常に伸びています。ネットなどの非対面取引は、これから重要な経営課題になりますね。

## ネット取引の強化が 経営課題として浮上した

**佐久間** 大浦副会長はいかがですか。

**大浦** 当社は工業用が主体ですから、その観点でお話しますと、春先は電子部品なども受注がありましたので製造も続いておりましたが、世界的な感染拡大で自動車工場が生産停止になったりして、その影響が5月後半くらいから出てきております。製造業は小売業より遅れて悪くなってきているという印象で、回復まではまだ時間がかかりそうです。経済活動を始めて感染が再拡大していますから、また経済活動を抑えるということになるかも知れません。

**佐久間** 経営判断の難しい局面が続きますね。ところで、資産としての金やプラチナに消費者の関心が高まっています。どうやって投資したらいいのか分からないという方も多いと思います。やはりコツコツ長期に、でしょうか。

**田苗** 一概には言えません。店頭にお見えになる方は、相談員にいろいろお訊ねになって地金を購入されたりします。ただ、コロナ禍のような状況になりますと、純金積立などのネット取引を積極的にオススメして、万一の時に、お客様が困らない、お客様に不利益を与えないようにしないとイケないと思います。

**佐久間** 最近、ESG(\*4)が大きなトレンドに

なっていますよね。

**山口** そうですね、貴金属の世界で申しますと、児童労働させる鉱山、水銀を使う鉱山、テロの資金源になるような鉱山からは買わない、といったことが徹底されていくと思います。

環境という面では、太陽光発電の需要にも根強いものがあります。5年前1,500トンの銀が使われていましたが、去年は3,000トンまで増加しています。新たな環境用途が開発されれば、貴金属の需要は喚起されていくのかなと思いますね。

**佐久間** 持続的な成長に向けての体制強化が望まれて行くのでしょうか。さまざまお話がつきませんが、今後の協会の活動、取り組みついて、副会長お二人から抱負やメッセージなどを伺いたいと思います。

**大浦** さきほどから話題になっておりますが、やはり密輸問題との取り組みが最重要課題かと思えます。消費者にご迷惑が及ぶようなことがないように、密輸されたものが国内で流通できないところをもっていかないとイケません。当協会の会員が力を合わせ、また経済産業省や各省庁と連携して、法令遵守の周知徹底に取り組んでいきたいと思えます。

**中村** 世界の潮流も、消費者の動向も、大きく変わる時期に来ております。そのなかで貴金属の業界がさらに発展できるように、協会の活動に取り組んでまいりたいと思えます。

**佐久間** 本日は、貴金属市場の動き、業界の動向、そして将来への課題まで、貴重なお話を伺いました。どうもありがとうございました。

\*4: Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の頭文字をとったもの。企業の持続的な成長の土台となるものとして重要視される。



# ドル建て金価格の「温故知新」



マーケット・ストラテジー・インスティテュート代表  
金融・貴金属アナリスト

亀井 幸一郎 (かめい こういちろう)

中央大学法学部卒業。山一証券、日本初のFP会社マネー  
マネジメント・インスティテュート、ワールド・ゴールド・  
カウンシルを経て独立。「史観と俯瞰」をモットーに金融  
市場から商品市場、国際情勢まで幅広くウオッチしている。

## 最高値を更新した内外金価格

2020年に入り内外で金価格の上昇が注目を集めることになった。世界中で新型コロナが猛威を振るい、新興国のみならず米国はじめ主要国の金融経済も大混乱に陥った2月下旬以降、安全資産とされる金を買われ水準を切り上げた。年初に1オンス(=31.1035グラム)、1500ドル台初めて取引を開始した金は、7月下旬に1900ドルを突破すると2011年9月に記録していたこれまでの過去最高値1923.7ドルを上回る。8月に入り2000ドルを突破すると、そのまま7日の2089.2ドルまで駆け上がることになった。

一方、国内円建て価格も、ドル円相場がこう着状態(105~107円)が続いていたことから、NY金の上昇をそのまま反映する形で大幅上昇となった。7月27日、1980年(昭和55年)1月に記録していた過去最高値・グラム当たり6495円(当時は消費税未導入)を40年7カ月ぶりに突破。NY金が最高値を付けた8月7日の現物の国内店頭小売価格(税抜き)は、7063円と初めて7000円台に乗せることになった。

## 通貨の相対的価値を映す「金」

円建て価格が過去最高値を更新したことで、金はすべての国で過去最高値を更新したことになった。実は、自国通貨建ての金価格が最高値を更新していないのは、世界中で日本のみになっていた。金はどこの国でも共通の価値を認められ、その国の通貨に換えることができ、そ

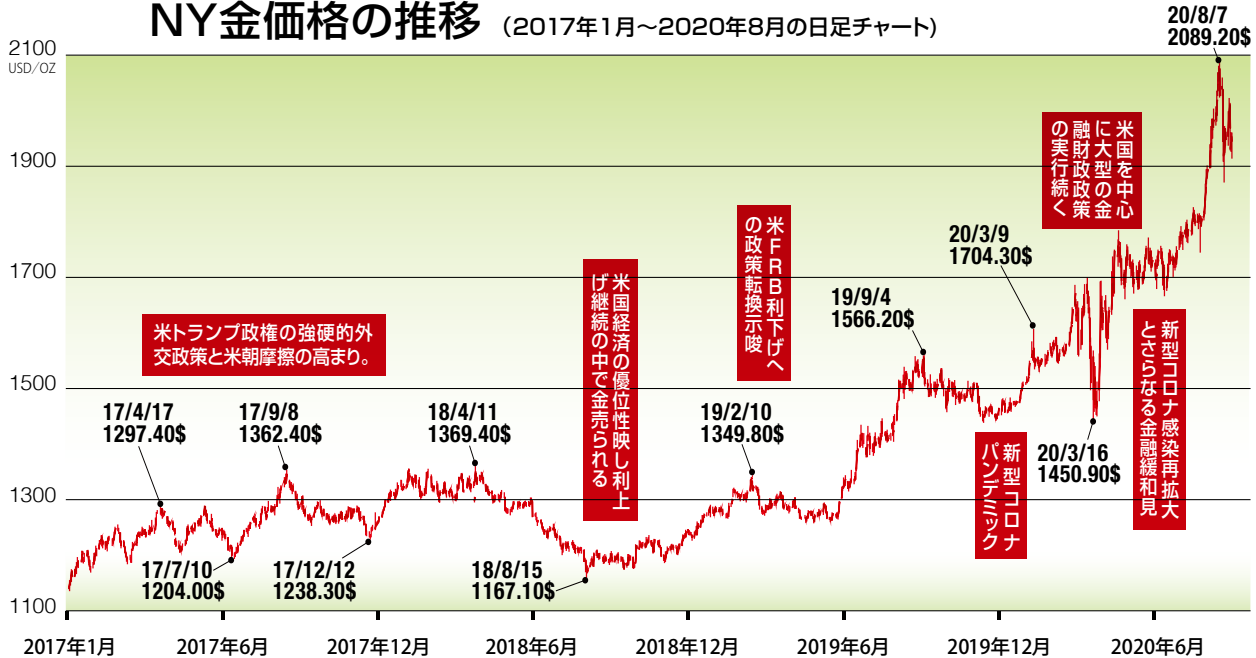
れゆえ無国籍通貨として認識されている。もともと主要国で通貨の裏付けとして金が用いられていた(金本位制)歴史的背景から、いまなお金のみが通貨性を認められ、値動きの面で他の貴金属と一線を画している。円建て金価格の過去最高値更新を、視点を金に置いて表現するならば、金に対して円が値下がりしたことを意味する。つまり、最後に過去最高値を更新した円建て金価格の意味することは、日本円が金との関係で、世界中でもっとも購買力を維持していた強い通貨だったと言えるわけだ。

## ニクソンショック＝ドル切下げ①

最後まで金本位制を維持していたのは米国だが、今から49年前の1971年8月にドルと金の交換を突然停止した。国際的な貿易や金融取引で最も使用される通貨を基軸通貨(Key Currency)と呼ぶ。当時、戦後世界の中でドルは基軸通貨としての地位を確立していた。貿易や金融取引などの基盤となる国際通貨制度の根幹の唐突な変換に、世界の金融経済は大混乱に陥ることになる。時のアメリカ大統領の名前を冠し「ニクソンショック」と呼ばれるものだ。ニクソン大統領は8月15日日曜日のゴールデンタイム、午後9時から20分間の臨時テレビ演説の最後にこの変更を発表した。

何ゆえ米国は突然ドルと金の交換を停止(金本位制の廃止)したのか。広く知られるようにもともと1オンス=35ドルで交換を保証していたのだが(固定相場制)、17世紀の昔から金現物取引の中心地となっていたロンドンでは、比較

## NY金価格の推移 (2017年1月～2020年8月の日足チャート)



的自由な取引が行われていた。当時ロンドン市場では、この年の5月には1オンス=40ドルを超えるところまで金は値上がりしていた。つまり、40ドル以上出さないと1オンスの金を買えなかった。同時進行で欧州ではドル売り・マルク買いなどの投機的な動きが広がっていた。ドル買い介入を余儀なくされた欧州主要国の通貨当局が金との交換を米国の中央銀行・連邦準備理事会(FRB)に請求すれば、すでに減少していた米国の金準備は底をつく。じわじわと水準を切り上げる金価格は、戦後の国際通貨制度(ブレトンウッズ体制)の基盤である金ドル本位制が破綻寸前にあることを表していた。

背景にあったのは、米国の経済体力の低下だった。過大評価との指摘があったドル固定相場のもとで貿易収支が悪化、そこにベトナム戦争の戦費拡大(想定外の長期化)から財政赤字が

膨らみ、赤字を補うためにドルの発行量も増えていた。いわゆる「双子の赤字」問題に米国は窮していた。ところが金本位制の下、通貨の発行量は保有する金の量に縛られることになる。それでも支払いに充てるドルの発行は増やさざるを得ない。

### ドル危機を予見し上昇していた金

つまり通貨制度の先行きを予見し、ロンドン自由金市場では固定相場にもかかわらず金が上昇していた実態は、金に対しドルは値下がりを開始していたというのが実相といえる。もちろん米国の経済体力は急に落ちたわけではない。そこに至る過程でリスクを感じ取った国の中には、FRBに対し、外貨準備で保有するドルの金への交換を求めるところが増えていた。最後に最大の親交国英国が金への交換を求めた

ところで、ついに米国はギブアップ(交換停止)することになった。

その実態は、経済体力に比べ割高に固定されていたドル高に、米国自体が音を上げたというものだった。つまり、ニクソンショックとは「ドルの切り下げ」を意味する経済イベントだった。

発表の2日前の8月13日午後到大統領の山荘であるキャンプデービッドに極秘に政権の経済専門家が招集されたとされる。当時のアーサー・バーンズFRB議長は、中央銀行総裁という自身の立場から演説の核心である金ドル交換停止そのものに反対したとされる。その上で「為替相場の調整は協調的交渉によるべきだ」とした。しかし、それは政治的決断に押し切られることになる。当時の構想は、ドルの切り下げにより米国の国際収支を130億ドル改善させるというものだった。国際協調よりも、政治の独断専行が優先されることになった。

それ以降、通貨発行は金保有量の縛りを解かれ、中央銀行の裁量に任せる管理通貨制度に移行した。中央銀行は自由にお札を刷ることができるようになり今日に至っている。そして2020年の新型コロナ禍のもとで、際限のない通貨(ドル)の増発が続いている。

## プラザ合意＝ドル切下げ②

次のドル切り下げイベントとして知られるのは、1985年9月のプラザ合意となる。80年代の米国は70年代から続く高インフレに悩まされ、まずインフレ抑制を掲げ高金利政策を取っていた。ポール・ボルカーFRB議長の下での厳しい

金融引き締めによるインフレ抑制策は功を奏したものの、一方で米国経済を傷つけた。81年に就任したロナルド・レーガン大統領のもと、①大幅減税と歳出削減、②規制緩和、③安定的な金融政策、を柱とする経済戦略「レーガノミクス」が取られた。伝統的な共和党政権ともいえる「小さな政府」を標榜した。規制緩和も共和党色の強いもので、政府の介入を抑え民間の自助努力を促すというもの。インフレを抑制するため通貨供給を厳格にコントロールする厳しい金融引き締めのもと、政策金利(FFレート)も一時20%を超えることになった。高金利により世界の投資マネーは米国に流入する一方で、民間投資は抑制された。結局、高インフレからは脱したものの、財政赤字が累積するとともに貿易赤字も増加(半分は対日赤字)。国際収支の不均衡は拡大一途となった。

「双子の赤字」と呼ばれる財政赤字と貿易赤字は、アメリカ国内で保護主義の動きを強めさせることになり、日本製品排斥運動なども話題となる。ドルショックの再発を恐れた先進各国は、いきすぎたドル高を是正するために協調行動でドル安路線を取るようになった。

ニューヨークのプラザホテルに主要5カ国(G5:米、英、独、仏、日)の財務相・中央銀行総裁が集まり、為替市場にて協調介入することが合意された。参加各国の通貨を一律10~12%幅で切り上げが決まったが、結果的に日本円がもっとも切り上げを迫られた。ドルの安定的な切り下げは進んだ。

当時、金市場の反応はやはり上昇だった。た





亀井幸一郎 著  
「通貨の凋落で金急騰がはじまる！」  
宝島社より絶賛発売中

新型コロナによる金融経済の混乱に対し、従来型の金融財政のばら撒きでの対応が進んでいます。取られている超拡大財政や大量の通貨供給という対応策は「今必要なもの」で正しい政策です。しかし、この正しい政策が次の問題につながって来たのが過去30年の金融史です。金の基礎知識も事例の中に盛り込みました。(亀井)

だし、合意に至る前段階で水面下で周到な話し合いが行われ、秩序だったドルの切り下げとなったことから、流れに沿って緩やかに金は上昇した。合意前の320ドル前後から徐々に水準を切り上げ、ドルの切り下げ率が決まった1987年2月のパリでの「ルーブル合意」以降の同年12月には500ドルに達した。金価格の上昇が比較的抑えられたのは、FRBの政策金利がその時点でも10%を超えていたことがある。

いずれにしても、財政赤字と高水準の貿易赤字という「双子の赤字」の拡大により、ドルは大きく減価することになった。構図は、ニクソン・ショック時と同じで、米国の経済実態以上に過大評価されたドル価値の修正が行われた。

## 再浮上する「双子の赤字」問題

ドル価値の切り下げに関連した2つの歴史的イベントを見たが、2020年新型コロナ禍の中でにわかに同様の環境が生まれつつあると思われる。米議会予算局が2020年4月25日に発表した予測では、20年9月末に終わる2020会計年度の連邦財政赤字は3兆7000億ドル(約395兆円)に達するとしている。新型コロナ対応の緊急政策を見込んだ結果で、もちろん過去最大となる。国内総生産(GDP)比で17.9%と、前年2019会計年度の4.6%から3倍余りに膨らむことになる。GDP比17.9%の財政赤字規模は第2次世界大戦以来の大きさで、リーマンショック時に記録した数字の2倍に近いもの。ただし、感染の再拡大などその後、想定外の事態に至っていることから、追加予算が組まれる可能性は

高く赤字額はさらに膨らみそうだ。

米議会予算局は、2021会計年度は2兆1000億ドルとの見通しを示したが、大型の緊急追加予算が計上されない前提となっていた。8月下旬時点で、民主党の大統領候補に指名されたバイデン元副大統領は、公約に環境インフラやIT部門などに3兆ドル(約320兆円)近くを充て、1930年代のニューディール政策以来の大規模投資を掲げている。もともと現職のトランプ政権が2期目に入ると、さらなる財政赤字の拡大が指摘されてきた経緯もある。

一方、米商務省の貿易統計では2019年のモノの貿易赤字は、12年ぶりに過去最大を更新した2018年比で2.5%減り8529億4900万ドル(約90兆円)となった。米中摩擦が高まり交易が阻害される可能性は高いが、中国以外からの代替調達も進んでいる。ここまでの米国景気の優位性を考えると、景気の底打ち回復傾向とともに米貿易赤字は高水準を維持しそうだ。

2020年春以降の金価格高騰は、金ETF(上場投信)を經由した欧米投資マネーの記録的な流入が原動力となっている。中長期的にドル安やインフレを見込んだものとされるが、確かに環境は過去のドル切り下げに至った経路に似てきている。違うのは金額の規模感だ。2000ドルを軽く突破した金価格は、そうした近未来を示しているというのは穿ちすぎだろうか。

※ドル建て価格は、国内メディアで金価格として報じられているNY金先物価格を使用

# 白金族鉱床、大発見

2015年9月に発覚したVWディーゼル不正問題以降、欧州を中心にディーゼル車からガソリン車あるいは電動車へのシフトが続いています。その結果、ディーゼル排ガス浄化触媒のプラチナ需要は低迷する一方、ガソリン排ガス浄化触媒のパラジウム需要は拡大する傾向にあります。現在はコロナ禍による世界的な景気悪化で、白金族需要は低迷気味ではあるものの、景気が回復モードに移行すれば、環境負荷低減に役立つ白金族の需要も回復するものと思われます。ただし、それにはまだしばらく時間を要します。

そこで今回は供給面に目を移し、先般、南アフリカ共和国(南ア)において巨大白金族鉱床を発見し、世界的な注目を浴びた独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)を訪問。実際に鉱床探査から権益確保まで一連のプロジェクトに携わったチームの方々に、話を伺う機会を得ました。なかなか得難い貴重な情報満載です。

## 白金族鉱床の探査経緯

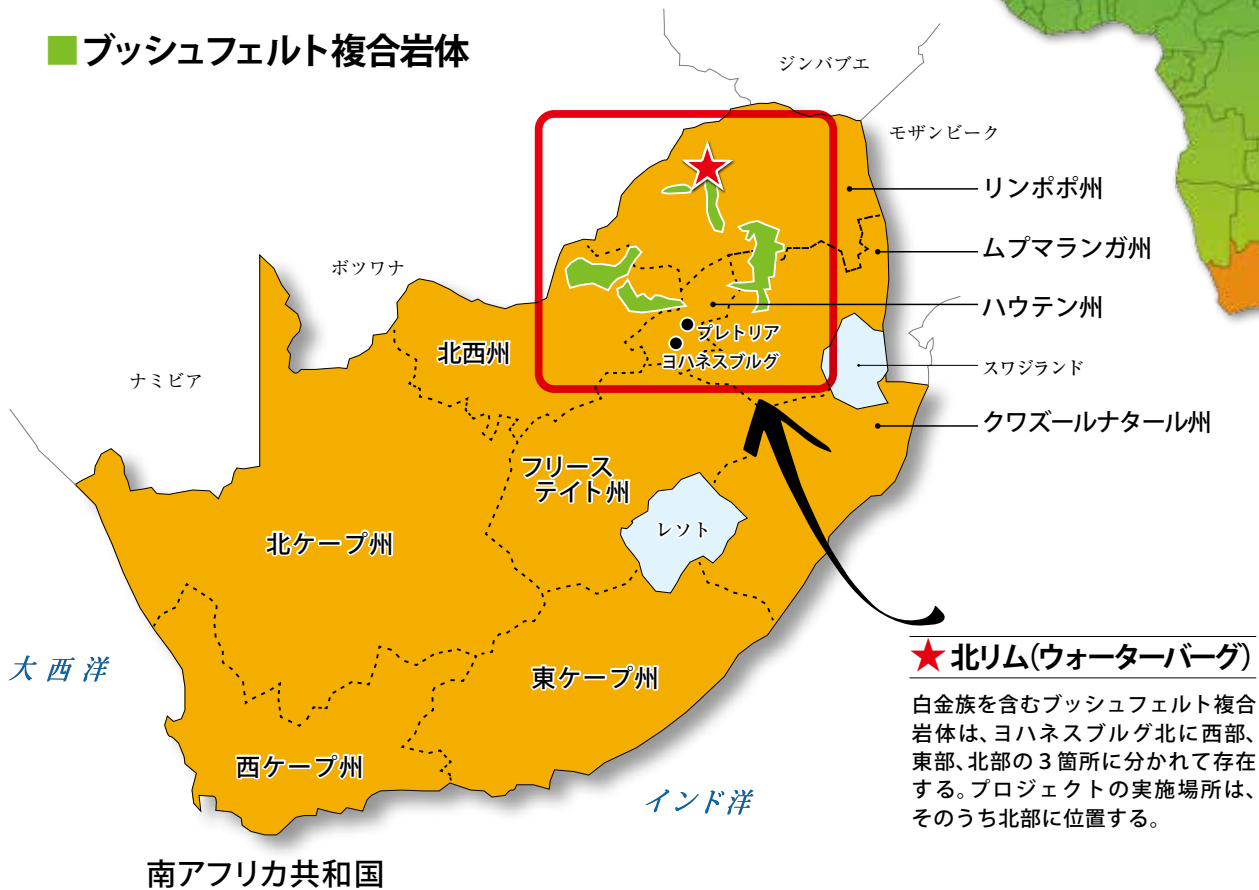
本プロジェクトの話は、二つの事象を背景に2005～2006年頃に持ち上がりました。一つは中国が経済拡大に伴ってアフリカでの資源確保を積極的に推し進め、我が国としても看過できないという認識が浮上していたこと。もう一つはプラチナを含むコモディティ価格の急速な上昇を受け、産業界から早めに手当てができないかという要請が出ていたことです。さまざまな観点から検討を進めた結果、南アにおいてレアメタルの探査に着手すること、そして対象を白金族とするのが望ましいとの結論に至り、準備期間を経て2009年から現地調査に入りました。

探査地域のターゲットは、豊富な白金族鉱床を有するブッシュフェルト複合岩体に決まりました。とはいえ我々は後発であったため、同地域の東リム、西リムと呼ばれる地区は、すで

に大手3社(アングロ・アメリカン・プラチナム、インパラ・プラチナム、ロンミン)の鉱区によって埋め尽くされ、参入する余地はありませんでした。そこで当時まだ探査があまり進んでいなかった北リム(ウォーターバーグ)に照準を合わせ、同地区で権益を保有していた15社(当時)をスクリーニング。我々が共同で取り組むにふさわしい会社として、経験と技術と実績を兼ね備えたカナダのプラチナム・グループ・メタルズ(PTM社)を最適と判断しタッグを組みました。

ちなみにPTM社というのは、資源探査を計画し、投資を呼び込んで活動しているカナダのベンチャー企業です。こうした企業は日本には存在しませんが、海外には探鉱に理解のある機関投資家や富裕層が多く、成功すれば豊富なリターンが得られる資源探査ベンチャーに対して巨額の投資も生まれます。そのため成果を上げて大きく成長していくベンチャー、最終的に生

## ■ ブッシュフェルト複合岩体



### ★北リム(ウォーターバーグ)

白金族を含むブッシュフェルト複合岩体は、ヨハネスブルグ北に西部、東部、北部の3箇所に分かれて存在する。プロジェクトの実施場所は、そのうち北部に位置する。

産会社となるベンチャーなどが数多く存在します。とりわけ2000年以降、彼らのようにリスクを取ってチャレンジする存在があるからこそ、新たな鉱床の発見や開発が続いていると言って差し支えなく、彼らの存在なくして長期的な資源の安定確保はおぼつかないかも知れません。

## 幸運に恵まれたプロジェクト

時計の針を少し戻します。南アで白金族の採掘が始まったのは、100年ほど前の1920年代です。最初に開発されたのはブッシュフェルトの西リムで、次第に東リムへと延びて行きました。東西リムともに鉱床の厚みが薄い(高さ50~90cm)という難点はあるものの、鉱石の品位はきわめて高いというメリットがあったからです。一方、我々がターゲットとした北リムで採掘が始まったのは1992年と歴史が浅く、長ら

く採掘の対象とはされてきませんでした。開発が後回しにされてきた理由はただひとつ、鉱石の品位が東西リムよりも低いためです。

それでも我々としては北リムに入らざるを得ませんでした。それが結果的には「吉」と出ました。というのも、東西リムのように厚みの薄い鉱床で高品位の鉱石を人力で手掘りするという昔ながらの方法はコスト高になり、労働環境的にも非常に厳しく効率が悪くなっていたためです。過酷な労働環境はしばしば深刻な労使対立を生み、胸が痛むほどの暴力的な事例に発展することもあります。その点で北リムは、鉱石の品位は多少下がるものの、鉱床が桁違いに分厚く形成されており、人が重機を操作して大規模に採掘することが可能です。結果論ではありますが、後発であったことがプラスに働いて、労働環境の面からも労働者に優しい時代の先を行く選択ができたと思っております。





資源探査部長

## 宮武 修一

金に顕著ですが、近年、新たな鉱床は見つかりにくくなっています。鉱業一般に言えますが、探査・採掘はますますシビアになり、住民対策や環境対策のハードルも高くなり、採掘コストは長期的に上昇せざるを得ません。ナショナリズムの高まりも無視できません。中長期での安定供給を考えると、それでもパイを増やす資源探査の手は抜けません。この重要性をもっと広く知って頂きたいと思います。

●専門領域：地質学、地質工学



いうまでもありませんが、探査する地区は権利者のいない場所に限られます。さきほど申し上げたように、本プロジェクトのターゲットは、鉱床が存在する可能性は低いと見なされていた北リムの最北端に当たります。とはいえ、我々が長年培ってきた鉱床形成に関する知見を活用して現地の地質図を読む限り、最北端一帯の地下にも白金族鉱床はたしかに存在するだろうと予想していました。地下を可視化する物理探査～「磁気分布(磁性を帯びた鉱石の分布)調査」と「重力分布(比重の重い鉱石の分布)調査」～を実施した結果も、我々の見方を裏付けるものでした。そこでさらに鉱床のある場所、深さ、角度、方向について、いわば地球内部をスキャン(透視)するかのような作業を重ねた上で、地点を定めて二本のボーリング作業に入りました。

しかし、実りある成果は得られませんでした。その後、不首尾の原因を突き詰め、地点を変えて再びボーリングを行なったところ、運良く分厚い鉱床に当たりました。鉱床の方向が当初の想定と異なりはしたものの、我々の見立ては正しかったことが証明されました。しかもその後の調査で、鉱床の厚みが最大で100m(おおむね20~90m)、幅1.8km、長さ13kmに渡って

延々と続いていることが明らかになりました。想定を遥かに上回る嬉しい結果で、まさに幸運という他ありませんでした。我々の成功をきっかけに、北リムは現在ディスカバリー(大発見)に湧いています。

## 鉱床の組成と資源量

ブッシュフェルトの白金族鉱床の構成割合は、先に紹介した東西リムではプラチナ2に対しパラジウム1です。ところが我々が発見した鉱床は正反対で、プラチナ1に対してパラジウム2となっています。ロジウムも1%と微量ながらも含まれています。最近のパラジウム需要の盛り上がりを考えると、ここでも幸運が重なったと言えるかも知れません。

肝心の資源量ですが、これまでに判明しているのは、2012年の段階で205t。それが2013年には545t、2014年には693t、そしてPTM社が元々保有していた隣接鉱区と我々の鉱区を統合した2015年には904t、さらにその後の調査の結果、現在では1,037tにまで拡大しています。この資源量からすると、鉱山寿命として45年が試算されることになるのですが、資源量が未評価となっている鉱区もありますので、おそらく

資源探査部 探査技術開発課 課長 博士(工学)

## 増田 一夫

探鉱には長い期間を要します。「千三つ」といわれる世界でリスクもありますし、首尾よく発見しても地金という成果を生むまでに15年、20年がかかります。そのなかで我々 JOGMECが大きな成果をあげ、国内の需要に貢献できることは嬉しい限りです。

●専門領域：物理探査、地球システム工学

金属企画部 調査課 課長

## 奥村 維男

世界的な排ガス規制強化により電動化が急速に進展する中であっても、HEVやPHEVの排ガス浄化触媒向けとして、今後も白金族需要は堅調に推移するものと見ています。また、燃料電池や医療関連向けの触媒などの新たな分野における需要によって、白金族が求められる分野は今後も裾野が拡大するのではないかと考えております。

●専門領域：環境、水文地質学

### ■ウォーターバーク白金族探鉱プロジェクト年表

|          |   |
|----------|---|
| 2008年4月  | 白金族探鉱プロジェクトスタート   |
| 2009年3月  | PTM社とワースプリングス地域について「共同探鉱実施契約」を締結                                |
| 2009年10月 | 同社とウォーターバーク地域について「共同探鉱実施契約」を締結                                  |
| 2010年7月  | 1回目のポーリング調査を実施  |
| 2011年10月 | 2回目のポーリング調査を実施  |
| 2011年11月 | 白金族鉱床を発見  |
| ～2012年9月 | さらに16本のポーリングを実施し2層の白金族鉱床を発見                                     |
| 2012年9月  | 白金族金属量*を約205tと試算  |
| 2012年12月 | マイニング・ジャーナル誌で「最優秀探鉱賞」を受賞  |
| 2013年4月  | 白金族金属量*が315tへ拡大   |
| 2013年9月  | 白金族金属量*が545tへ拡大   |
| 2014年6月  | 白金族金属量*が693tへ拡大   |
| 2014年6月  | 2013年度資源地質学会技術賞受賞   |
| 2014年11月 | 新たな鉱化帯を発見   |
| 2015年5月  | 北部隣接鉱区と統合し、プロジェクト範囲が1,118km <sup>2</sup> に拡大<br>白金族金属量*が904tへ拡大 |
| 2016年11月 | プレ・フィージビリティ・スタディの評価を発表  |
| 2017年10月 | インパラ社と戦略的提携   |
| 2018年3月  | 日本企業への9.755%権益譲渡に向けた基本合意書締結                                     |
| 2019年12月 | 白金族金属量*が1,037tへ拡大   |

\* 金を含む

向こう100年くらいは採掘を続けられるのではないかと思います。

もちろん苦難も多くありましたが、数々の幸運に恵まれた結果、おかげさまで2012年にはマイニング・ジャーナル誌で「最優秀探鉱賞」に選出され、翌年には国内でも「2013年度資源地質学会技術賞」を受賞する栄誉にあずかることができました。我々にとってじつに嬉しいプロジェクトでした。

## 南アの高付加価値戦略

ただし、すべてのことが順調に運んだわけではありません。権益譲渡の段階になって、我々は大きな躓きを経験しました。これはじつに魅力的なプロジェクトであり、簡単な経済性評価を作成すれば日本企業には十分に価値が伝わるであろうと考え、自信をもって権利移転のための入札を行なったのですが、応札はゼロに終わりました。探査パートナーであるPTM社がカナダの企業であったことや、同社が南アにおける白金族採掘の実績を有していなかったことがネックとなりました。逆に、フィージビリティ・スタディ(プロジェクト実現可能性の事前調査)を強く求められました。我々が想定していた権





◀JOGMECとPTM社によるボーリング調査の様子



## マイニング・ ジャーナル誌 「最優秀探鉱賞」

◀JOGMECとPTM社が発見した白金族鉱床は、南ア・ブッシュフェルト地域の新たな可能性を開いたとし、英国の鉱業専門雑誌マイニング・ジャーナル誌により、2012年の最優秀探鉱賞に選定された。

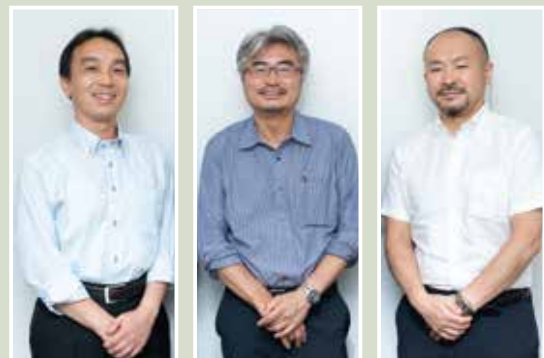
益譲渡先である商社からすれば、探鉱が終わったあとの経済性が見通せないというわけです。

反省をもとに二回目の入札を実施しましたが、それでも霧は晴れず。そこには南アの持つ特殊性が大きく絡んでいることが見えてきました。そこで、南アの白金族大手の一角で鉱山での操業経験も有する精錬会社インパラ・プラチナム社を新たなパートナーとして招き入れ、PTM社、そして我々JOGMECの三者提携事業に衣替えした三度目の入札で、ようやく応札がありました。郷に入れば郷に従え。南アの探鉱では、同国での実績と経験が重要と実感した次第です。

障害となっていた南ア政府の「高付加価値政策」を最後に紹介しておきたいと思います。南アでは黒人差別の歴史が現在も尾を引いており、同国鉱業の投資環境にはとても厳しいものがあります。そのなかで南ア政府としては、インフラ整備や産業育成といった政策目標を積極的に推し進める必要があります。ですから、採掘された鉱石をそのまま輸出されては困るわけです。少なくとも地金精錬のプロセスまでは国内で完結させ、ゆくゆくはその先の加工にまで乗り出したいと考えているのではないのでしょうか。

鉱山権益の問題もしかりで、26%は自動的に

南ア政府に上納するルールになっていることから、残りの74%の権益を三社で割り振る結果となりました。協議の結果、最終的にJOGMECが取得した権益は22%で、そのうち9.8%はすでに国内の企業に譲渡していますから、現在我々は12.2%の権益を保有しています。将来的には求めに応じて国内企業に譲渡して行くことになると思います。今後順調に開発が進み、想定通りに生産が行われれば、白金族の国内供給について、向こう50年以上は貢献できるだろうと考えています。



### 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

**JOGMEC** (Japan Oil, Gas and Metals National Corporation) は、日本における資源・エネルギーの安定供給確保を使命とし、石油・天然ガス、金属鉱物、石炭および地熱資源の安定的かつ低廉な供給を目的として国が定めた資源政策を実行している独立行政法人である。



# 黄金輝く古代中国文化

古代中国において黄金がどれほど尊ばれていたか。それを示すエピソードを思いつくままに紹介しよう。

\*\*\*

古来、中国では石の一種「玉(ぎょく)」が最も高く評価された。皇帝の座る椅子は「玉座」であり、皇帝の文書に記す印字は「玉璽(ぎょくじ)」といわれた。

といっても、金がないがしろにされたわけではない。中国は周辺諸国や後宮の美女に金で造った「金印」を贈った。日本でも江戸時代、福岡県の志賀島から、「漢倭奴国王」という金印が発見されたが、これは後漢の初代皇帝光武帝が、当時の九州の豪族に贈ったとされる。

神話でも金は幅を利かせている。漢代に書かれた『神異教』には「神仙が住む宮殿があり、中央の宮殿を『天皇之宮』といい、金を敷き詰め、門は金の板を掲げた」とある。

伝説の神仙に「西王母」という女神がいる。西王母は「九靈太妙龜山金母」、「太靈九光龜台金母」、「瑶

池金母」ともいわれるが、いずれも「金母」が付けられている。

ただ、夏、殷など古代の王朝の遺跡では金は発見されていない。なかったのではなく、おそらく盗まれたのだろう。歴史書『史記』では「伝説の皇帝舜の時代に金貨が造られた」としているが、もちろん、見つかっていない。

中国で最初に金貨が造られたのは戦国時代の紀元前三世紀、「楚」という国。名称は「郢爰(えいえん)」。長さ12.2センチ、幅8センチ、厚さ1.5センチで、長方形。一見、金貨とは思えない形状だ。

中国最初の統一王朝秦ももちろん、「黄金の文化」だった。

漢時代の書『西京雜記』によると、「高祖(=漢の初代皇帝劉邦)が咸陽宮に入って府庫を見ると金銀財宝に満ち溢れていた」という。

始皇帝は中国全土に通用する「統一金貨」も初めて造った。この金貨は「上幣」といい、重さが20両。1両は約16グラムだったといわれ

ているので、一枚、約320グラムに相当する。これは秀吉の造った天正大判の165グラムより重い。長い間「天正大判は世界最大の金貨」といわれてきたが、違っていたかも。

錬金術も盛んだった。中国では「金は不滅の実体であり、長寿をもたらす」と信じられており、それゆえに錬金術は盛んに行われた。「不老不死の薬の製造は金の製造と同じ」というわけだ。これが、金が尊重された最大の要因かもしれない。

道教の祖、老子はこう言っている。「黄金や宝玉が家中一杯になったら守り切れるものではない。富貴になって驕(おご)り高ぶると、自然に破滅をまねく」。

この話は中国人には守られていない。道教の寺道灌は、金で飾られ、訪れる人も富貴を求めている。老子は泉下で苦笑しているに違いない。始皇帝漢の宮廷では紀元前六〇年に劉向という学者を「処方師」に任命、「金を造れ」と命じたが、劉向は金を造れず、失脚している。



おかもと まさふさ  
岡本 匡房

1964年慶應大学経済学部卒、同年日本経済新聞社入社、  
日経産業消費研究所商品研究部長兼日経ゴールドレポート発行人。  
現市場経済研究所主幹。

# グローバル経済の危機

日本経済新聞社 編集局編集委員  
志田 富雄 (した とみお)



今年最初に執筆した原稿は原油と金の高騰だった。米軍によるイラン革命防衛隊司令官の殺害をきっかけに両国の威嚇と応酬が激化。中東からの供給に波及するのではとの思惑が原油買いを誘い、有事の金買いも広がった。しかし、市場は程なく新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄され、原油と金は対照的な値動きをすることになる。イスラエルとアラブ首長国連邦(UAE)は国交正常化で合意したが、これで中東情勢をめぐる不安が消えるわけではない。米中の対立はコロナ危機前より激しくなっている。世界は混沌の時代に突入した。

## 真っ先に反応した原油相場

中国の武漢市を発生源として新型コロナの感染が拡大し始めたとき、主要な国際商品(コモディティー)でいち早く反応したのは原油だった。人の動きが滞ることで、石油需要のおよそ4割を占める輸送分野が影響を受けるとの見方が広がったからだ。アジア地域ではジェット燃料の取引価格の下げに引っ張られる格好で原油相場が下落した。

現実の影響は、市場が懸念したシナリオをはるかに超えた。入国を規制する事実上の国境閉鎖は世界各国に広がり、大都市で人の移動を禁止するロックダウンが相次いだ。ジェット燃料だけでなく、ガソリン、軽油といった自動車燃料の消費も大幅に減少した。国際エネルギー機関(IEA)のビロル事務局長は3月時点で「世界で30億人もの人が経済封鎖に直面しており、石油需要は日量2000万バレル低下する可能性が

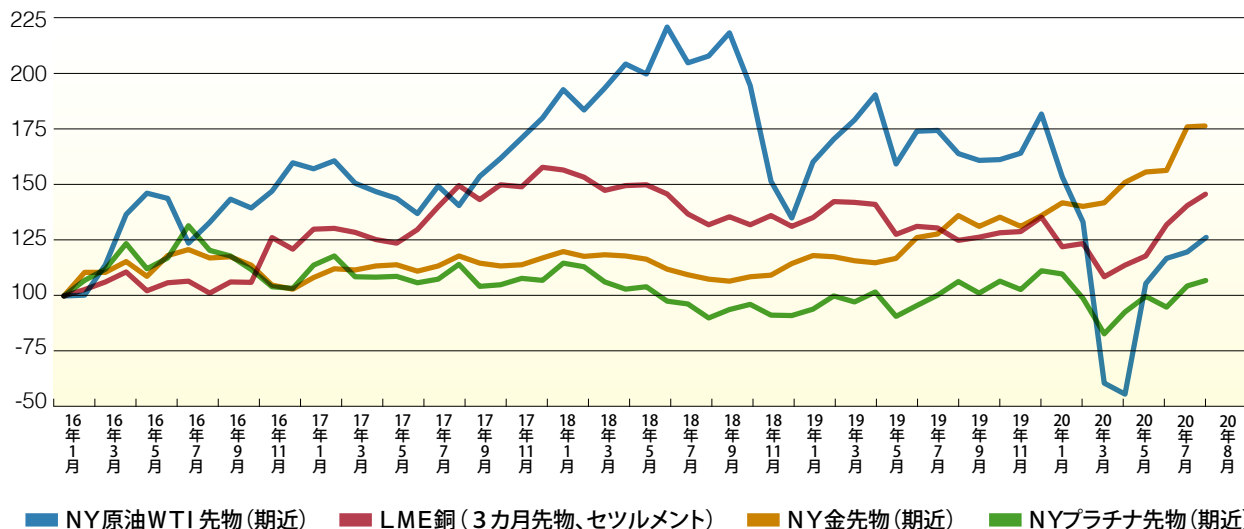
ある」と指摘。米大手投資銀行は2600万バレルの減少を見込んだ。世界の石油需要は日量でおよそ1億バレルだから、その2割から4分の1が消える計算だ。世界が石油を大量消費する時代になって以降、これほど急激な需要減少は例がない。

21世紀に入り、各国は中国を「世界の工場」として急速に経済発展した。欧米、日本といった先進国は賃金の安い中国に製造拠点をつくって部品などを調達。住宅バブルが膨らんだ米国では大型車が飛ぶように売れ、日本の自動車メーカーは専用船だけでは運びきれないためコンテナ船にも自動車を詰め込んで輸出した。金属やエネルギーを供給する南米、アフリカ諸国にも恩恵は及んだ。世界の経済成長をけん引する中国やインドに資源国のブラジル、ロシアを加えたBRICsという新語も生まれた。各国がサプライチェーンを通じて結びつくグローバル経済が確立され、人とモノの移動が活発になった。

中国経済は米国に次ぐ世界第2の規模に成長し、2000年に日量7600万バレルほどだった世界の石油需要は1億バレル近くまで伸びた。2018年に日本を訪れた外国人の数は3119万人と2000年の7倍弱まで増加。インバウンド需要は観光業や小売りの収益拡大に貢献した。そこに起きたのが新型コロナの感染拡大だ。人の移動が増えれば感染症が国境を越えて広がるリスクは高まる。新型コロナの前に、口蹄疫や豚コレラといった家畜伝染病の流行に兆候はあった。相互に依存し、人やモノの移動が盛んになった世界の経済が突然、その動きを制限されれば反

# 未曾有の危機を映し出す商品市場

チャイナ・ショックの影響を受けた2016年1月末を100とした指数チャート



動は大きい。新型コロナの感染が広がり始めた当初、世界経済への影響が2003年に襲った「重症急性呼吸器症候群(SARS=サーズ)ショック」に迫るかどうかが検証されたが、結果はSARSをはるかに上回った。私たちが直面するのは21世紀に構築されたグローバル経済の危機にほかならないからだ。原油相場が真っ先に反応した理由はそこにある。

原油の需給バランスを保つために主要産油国は大幅な減産強化を迫られた。ところが、3月の石油輸出国機構(OPEC)との会合でロシアがこれを拒否。追い詰められた格好のサウジはロシアやシェールオイルの生産を急増させる米国への対抗策に打って出た。サウジが需給の調整役を投げ出したのは2014年以来だ。いずれも背景には米国がシェールオイルの生産を急増させ、国際市場で存在感を強めたことがある。米国政府は2015年に原油輸出を解禁した。米エネルギー省によれば19年の原油輸出量は前年に比べ45%増え、日量300万バレルに迫った。輸入依存度の低下は、米国の中東政策も変えた。その意味で、冒頭に触れた中東情勢の不安定化と今年に入ってから原油価格の急落は米国を起点に根っこが繋がっている。

## もたつく世界経済

米原油先物が今年、ゼロ以下のマイナス価格で取引された事実は世界の商品市場の歴史に残る。原油先物市場で主に売り手はシェール企業などの生産者で、買い手の多くは金融機関だ。近年は原油価格に連動した上場投資信託(ETF)も売買が増えている。米原油先物を買っていた金融機関は決済時まで反対売買で手じまうことができないと、現物の原油を渡されることになる。しかし、米国の貯蔵所は売れなくなった原油やガソリンで満杯だ。その結果、買い手の金融機関は多額のコストを支払っての手じまいを強いられた。

石油市場に米原油先物がマイナス価格で取引されたのは「先物市場ならではの要因による異常値だ」という声は多い。だが、それは過去に例のない需給緩和がもたらした結果とも言える。いずれにせよ米原油先物の取引実績に期近取引で「マイナス40.32ドル」(4月20日)という記録が刻まれ、他の主要油種の値決めに影響した。金市場でもイタリア国境に近いスイスの有力精錬所が操業を停止して地金の供給が停滞。ニューヨークの先物価格と現物価格が乖離する



異変が起きた。コロナ危機は金融商品化した原油や金も現物の顔を隠せない教訓を示した。

原油相場の急落で米国ではシェール開発の中堅企業ホワイティング・ペトロリアムや老舗のチェサピーク・エナジーなどが経営破綻した。危機感を強めたトランプ政権は 사우ジ、ロシアの大幅な減産を呼びかけ、協調減産にこぎつけた。原油相場は持ち直したが、それでも8月時点で主要油種が40ドルを上回った程度にすぎない。原油相場の回復の陰には、割安とみて輸入を急増させた中国の存在がある。世界経済を診断する「ドクター・カップパー」と呼ばれる銅相場を2年ぶりの高値に押し上げ、鉄鉱石のスポット価格を昨年来の1トン100ドル台に乗せたのも中国だ。

それでも中国は生産年齢人口の拡大が経済成長を後押しする「人口ボーナス期」が終わり、大規模な財政出動を打ち出す余力もない。金融危機後のように世界経済を回復させるけん引力はもはや期待できない。1トン6000ドルを上回った銅相場も、1万ドルを超えた2011年の最高値には遠く及ばない。銅や鉄鉱石相場の回復にはチリ、ブラジルといった南米の資源国で新型コロナの感染拡大が深刻な影響もある。鉄鉱石の高値が世界経済の回復を映したものでないことは、原料価格の高止まりと製品価格の低迷に挟まれて日本の高炉大手が苦しんでいることで分かる。

## コロナが去っても消えないリスク

新型コロナの感染拡大を阻止する上で、もっとも効果的な対策は人の移動を止めることだ。しかし、それは各国の経済に決定的なダメージを与える。米国や日本が感染対策と経済活動を両立させる方針を打ち出した理由もそこにあ

る。貧困層の多い新興国の事情はもっと切実だ。ワクチンや有効な治療薬が開発されて行き渡るまで、感染拡大と経済活動の綱引きが続くことになる。その間、どこかの国で債務問題に火が付き、金融危機に陥るリスクも無視できない。

昨年未だに報復措置の緩和で合意した米中の関係も再び険しくなってきた。米トランプ政権は香港国家安全維持法を「中国共産党による抑圧の手段だ」と断じ、8月に香港政府トップの林鄭月娥(キャリー・ラム)行政長官ら11人に制裁を科すと発表。中国も報復措置を打ち出した。トランプ政権は閣僚の訪台という外交カードも切り、台湾を「核心的利益」と位置付ける中国は猛反発して武力行使もちらつかせている。米国の議会では党派を超えて反中機運が強まっており、大統領選でバイデン氏が政権をとっても米中対立の解消は容易ではない。

人やモノの移動を停滞させた新型コロナの危機が解消してもグローバル経済を分断させるリスクは残る。それは21世紀に入って急速に発展した世界経済を後戻りさせるリスクにほかならない。「中国は貴重な知的財産や貿易機密を盗んだ。米国からサプライチェーンを吸い取り、奴隷労働の要素を加えた。世界の主要航路は国際通商にとって安全でなくなった」。ポンペイオ米国務長官が7月、ヒューストンの中国領事館を閉鎖した後に行った演説がそのリスクを示す。

貴金属市場では金の高騰にけん引されるよう銀の価格も上向いた。一方で、プラチナの価格は金の半分ほどで低迷したままだ。金とプラチナの価格逆転が鮮明になって5年。両者の価格は年々、広がっている。商品市場で金だけが突出して高い構図は、コロナ危機がなくても世界が未曾有の危機に直面していることを物語る。

# 名作に見る金貨2題、 銅貨1題

## — モリエール「守銭奴」—

フランスの喜劇作家で俳優のモリエールの代表作は「守銭奴」。その主人公アルパゴンの悲痛な叫び声が聞こえてくる。「ああ! 私の大事なお金! いとしい奴め! お前がいなくなってみると、わしはつかい棒がなくなった、なぐさめも、楽しみもあるはせん。何もかもおしまいだ、この世に生きている甲斐もない」(鈴木力衛訳)

吝嗇漢の代名詞ともなるアルパゴンの独り言。「手元に大金を置くとなると、恐ろしく気骨が折れるものだわい。財産の全部をしかるべきところに投資をして、手元には当座の入用だけしか残さないようにしたらさぞ気楽なことだろうて!」

そこでアルパゴンは金塊を地中に埋めることになる。その金塊が何者かに掘り出されたとわかった時の悲痛な叫びが冒頭の1節。

## — F・ノリス「死の谷」—

アメリカを代表する自然主義文

学の作家、F・ノリス作「死の谷」のヒロイン、トリナは金貨を愛するあまり、一晚中金貨の上に寝て金貨の肌触りを全身に感じながら異様な有頂天の喜びに浸る。

「私はお金を愛しているのよ! みんなあたしのもの。誰にも、決してお前を取らせはしない。お前たちのためにあたしはどんなに働いたことか。もっともっと手に入れるつもりよ」(井上宗次他訳)

トリナは夫との愛ではエクスタシーを感じることはできなかったが、金貨との接触でそれを感じることができた。ある晩などはベッドに敷き詰めた金貨の肌触りを全身に感じながら異様な有頂天の喜びに浸った。だが、度が過ぎたドけちの行く末は小説の題名が暗示している。大団円とはいくまい。

## — 林芙美子「放浪記」—

トリナは金貨と戯れるが、林芙美子作「放浪記」のヒロイン、それは若き日の芙美子自身でもあるが、

金貨ならぬ二銭銅貨と戯れる。短い期間ではあったが芙美子が身を置いた兜町は国際金融都市に向けて再開工事の真っ最中だ。日本を代表する永遠の青春小説「放浪記」の結末は「二銭銅貨」と題する詩だ。二銭銅貨を裸のへその上に置いて戯れる林芙美子とトリナが二重写しに見えてくる。今年「放浪記」の初版から90年になる。

「ああとでも倅せな手ざはり

何でも買へる触感

うす皮まんじゅうも買へる

大きな飴玉が四ツね

まるで金貨のやうだ

ぴかぴか光る二銭銅貨

文ちんにしてみたり

裸のへその上のせてみたり」

作家の武者小路実篤が書いている。「金という字を分解すれば、人には一(しんぼう)が第一じゃ」と。大阪・東野田のさる共同墓地に行くと、この文言を彫り込んだお墓があるという。

なべしま たかはる  
鍋島 高明

1936年高知県出身、59年早大政経卒、  
同年日本経済新聞入社、  
商品部次長、編集委員、日経総合販売を経て、  
97年市場経済研究所代表取締役



han



# 写真で見る 驚きのゴールド⑦

撮影：児島 一伸

磨きに磨き上げ洗練された感性を持つとされる先進国の人々の目には、黄金に輝く建物や装飾品などは成金趣味と映るらしい。しかし圧倒的な黄金の輝きを前に、言葉を失わない者がいるだろうか。







ミャンマー連邦共和国(旧ビルマ連邦)はバガン近郊に  
ニャウンウーにある、黄金に  
輝く仏教寺院シュエズイーゴ  
ン・バゴダ。ビルマ語でシュ  
エは「ゴールド」、ズイージ  
ンは「砂の河岸」(パーリ語  
で「祝福された土地」、バゴ  
ダは「仏塔」を意味するとい  
う。









曹洞宗大本山の一つ、福井県吉田郡にある永平寺の傘松閣(さんしょうかく)には、黄金に輝く絵天井がある。花鳥風月を表した絵が多く、伊東深水ら著名画家144名によって描かれている。



## 貴金属の未来を切り拓く

田中貴金属工業株式会社 田苗 明 代表取締役会長に聞く



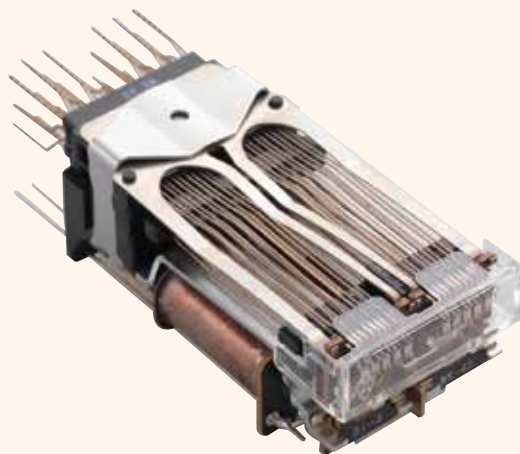
1923年の白金・パラジウム日本販売総代理店契約・極東地域の独占販売権契約締結の記念にソビエトの貿易部から寄贈された油絵「農民の娘」。

田中貴金属工業といえば、一般に金(ゴールド)のイメージがひろく浸透している。しかし135年に及ぶ歴史を俯瞰すると、工業分野を中心に白金族(プラチナ、パラジウム等)との結びつきが強いことが浮かび上がってくる。今回は白金族との関わりという視点から田中貴金属工業を取り上げます。

創業者である田中梅吉は、現在の千葉県松戸市に生まれました。長じて東京は神田佐久間町で大きな質屋を営む江島屋へ奉公に上がって修行に励みました。番頭まで勤め上げたのち独り立ち、日本橋北島町(現在の茅場町)に江島屋田中商店の看板を掲げて商いを始めたのが1885年(明治18年)のことでした。当初は質屋と両替商を兼ねた業態であったと伝わっておりますが、ほどなく指輪やコインの素材分析や加工を担う工場を起ち上げています。廃電球から白金を回収し、新たな白金線に加工するリサイクル技術を確認したのを皮切りに、理化学用つば、電極、



創業者 田中梅吉の名刺  
(大正7年~昭和8年頃使用)



クロスバー式電話交換機用接点：  
1953年、日本電電公社(現NTT)が米国ウエスタンユニオンから自動電話交換機の技術導入を決定。交換機に使うクロスバー式接点の開発を日本電気(現NEC)経由で受託。2年後の1955年に国産化に成功。その後、各社からの受注も一手に引き受けた。接点に使うパラジウムは東西冷戦下のソビエト連邦から輸入した。



東京オリンピック記念メダル：  
三代目・淳一郎の旗振りで業界を挙げて取り組んだ東京オリンピック記念メダル。1964年4月に発売開始、大人気となり発行枚数は計画の約3倍に達した。●金メダル(18K)：一枚5000円、19万5千枚 ●銀メダル(スターリングシルバー)：一枚800円、73万枚 ●銅メダル：一枚200円、145万枚。

注射針など、次々と白金工業製品の国産化に取り組んでいきました。

梅吉はとにかく好奇心旺盛で、北海道夕張地方の川でイリドスミン(イリジウムとオスミウムの合金)が採れると聞くと、さっそく万年筆のペン先に展開します。金合金より硬めという特徴が評価され万年筆メーカーにこぞって採用され、のちにドイツのヘレウス社にも輸出しておりました。こうして次世代への素地が整った頃合いの1918年(大正7年)に、江島屋の冠を外し株式会社田中商店に改組、その後二代目の田中一郎が経営を引き継ぎました。のちに大きな花を咲かせる地金商の基礎をつくったのが、この二代目の一郎でした。

当時の新聞広告や名刺を見ると、「白金、金、銀」と白金を最初に謳っております。白金の工業製品化をいかにも重視していた様子が窺えますが、残念ながら日本で白金は採れません。そこで目を向けたのが、当時、世界産出量の70%を占めていた革命前夜のロシアでした。関係各社の協力のも

と粘り強く交渉を続け、ソビエト連邦が成立した翌年の1923年(大正12年)に白金・パラジウムの日本販売総代理店契約を締結、極東における独占販売権も手中に収めました。二代目の達成感がいかばかりであったか想像に余りありません。その際ソビエトの貿易部から頂戴したのが「農民の娘」(油絵)で、現在も大切な記念として本社に飾っております。

戦後の1953年(昭和28年)には、やがて一大事業となるクロスバー式電話交換機用接点の国産化に取り組むこととなります。しかし肝心のパラジウムが、英国ジョンソン・マッセイ社による南ア産の割当供給ではどうも賄い切れるものではありませんでした。窮地を打開すべく当時専務だった三代目の田中淳一郎が向かった先は、東西冷戦下のモスクワでした。役所との直接交渉の末パラジウムの調達に成功するわけですが、その際に持参した1923年の契約時の記念写真が大いに役立ち歓迎を受けたと聞いています。30年

の時を経てふたたび幸運がもたらされたことを考えると、さきほどお話した「農民の娘」は、紛れもなく我が社の宝物の一つと言って良いかも知れません。

三代目の淳一郎は、この他に目に見えない大切なものも残してくれています。1985年に創業100周年を迎えた際、親交のあった東京理科大学の目黒謙次郎教授との交流のなかで「貴金属の科学」の編纂(へんさん)を思い立ちます。執筆陣には社内外を問わず当時第一線の貴金属研究者が名を連ね、弊社がこれまで培ってきた最先端技術やノウハウをフルに開示する方針を貫きました。この行動には、二つのメッセージが込められていると思います。一つは弊社のドメイン(事業領域)である貴金属業界と顧客の発展に尽くそうという思い、もう一つは過去の実績に甘えることなく先見性を持って新しいことに挑め、という従業員への激励です。これこそが、初代梅吉から変わらぬ弊社の企業姿勢でありDNAかとも感じております。



「貴金属の科学」の発行：  
創業100周年を記念して編纂、発行された専門書。のちに国際貴金属協会から英語版も出版された。社内外を問わず第一線の貴金属研究者が執筆者に名を連ね、当時の最先端技術とノウハウが詰まっている。基礎から応用編まで全3巻。

田中貴金属工業株式会社  
代表取締役会長 田苗 明





# 投資需要が牽引する高値更新 —— その背景と持続性

ワールドゴールドカウンシル

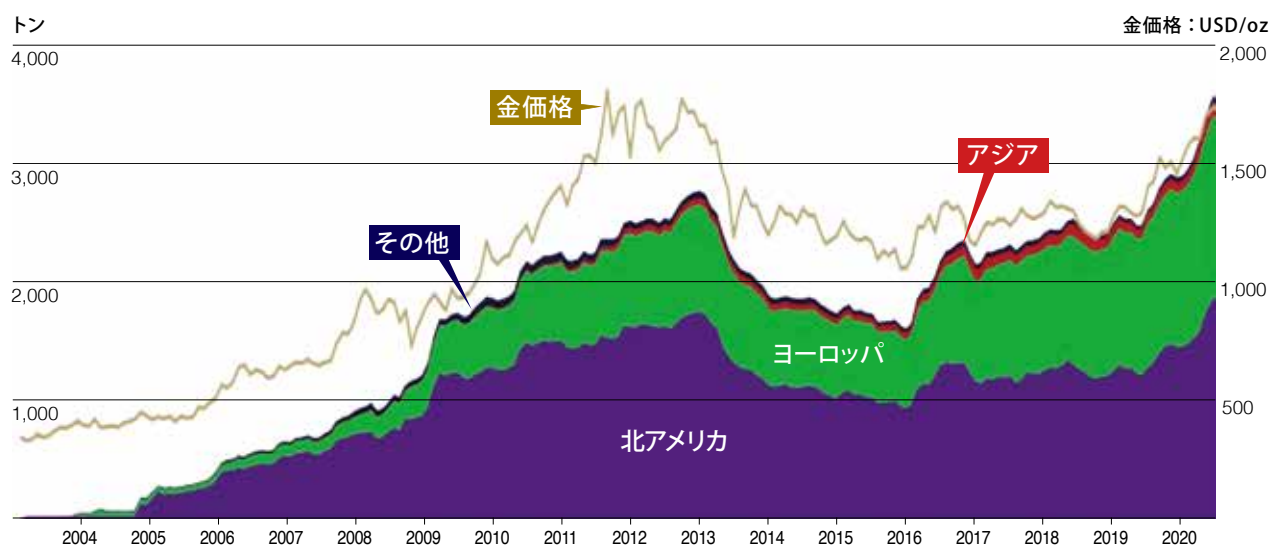
顧問 森田 隆大 (もりた たかひろ)

金価格は、2020年7月末に過去の最高値である1オンスあたり1,897.7ドルを更新した。先回のピークは、リーマンショックが急発生したため、大量の逃避資金がセーフヘブンを求め、金市場に流入したことを背景に2011年に形成されたものである。しかし、金融市場がやがて落ち着きを取り戻すと、こうした逃避資金は再び株式や債券に向かい、金価格は2013年に急落した。その後の数年間、金価格は1,200から1,350ドルのボックス圏で推移し、2019年後半、米中貿易摩擦の激化などによりマクロ政治・経済環境の安定性に対する懸念が増大したのを受け、多様なリスクヘッジ機能を持つ金が再び注目され、価格は上昇トレンドに転じた。

さらに、2020年に入り、新型コロナウイルスの拡大に伴い、投資環境の不確実性が加速的に増幅したため、中長期の投資家を中心に金に対する期待が急上昇し、今回の高値更新の原動力となった。したがって、前回と今回のピーク値の形成背景はかなり異なる。

2020年上半期において、代表的な投資商品である金ETFに流入した資金は過去最高の734トン、金額ベースにして4兆円超に達した。また、ETF累積残高も、上半期末に過去最高の3,621トンを記録し、投資需要の急増が最高値更新の原動力となった(図1参照)。投資家が金を求める最大の理由は、様々な投資リスクに同時に対応できる点であるが、その中でも、特に

■過去最高を更新する金ETF残高(図1)



出所: Bloomberg, Company Filings, ICE Benchmark Administration, World Gold Council; See disclaimer on gold.org  
Date as of 30 June, 2020



関心が高いのは、テールリスクおよび分散リスクに対するヘッジ機能である。

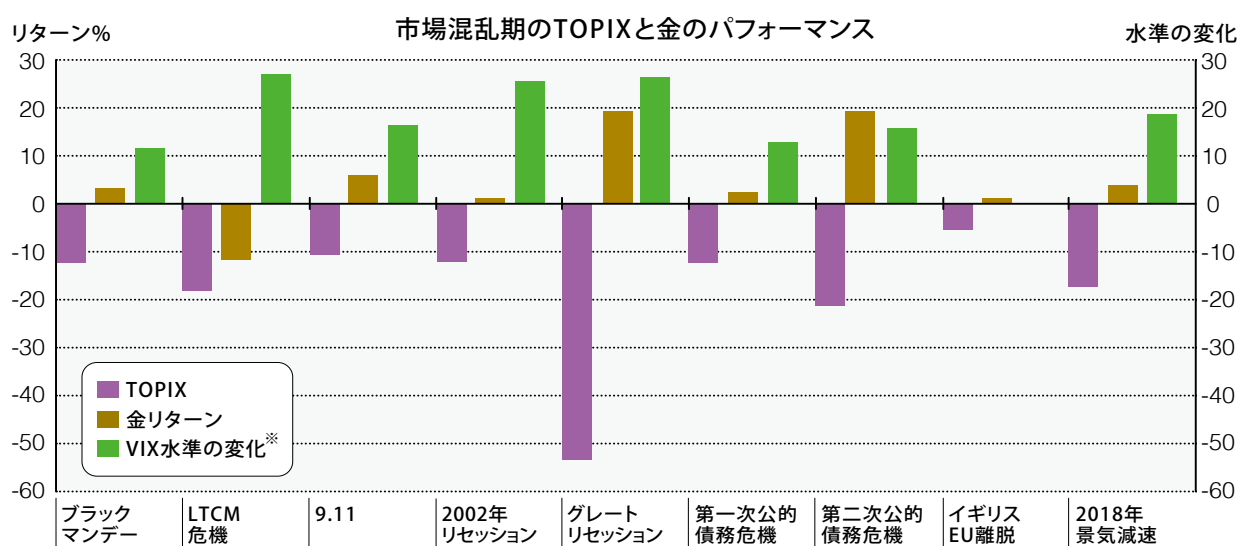
ブラックマンデー、9・11、リーマンショック、ユーロソブリン危機など、過去のテールリスク・イベント発生時に混乱した株式市場とは対照的に、金は極めて堅調なパフォーマンスを上げていることは検証されている(図2参照)。今回のコロナウイルス発生においても、金価格は年初から25%超上昇しており、苦境に立たされている他資産との違いは鮮明である。また、金は他主要資産との相関が低く、値動きも異なるため、ポートフォリオに加えると、投資分散効果が得られることもよく知られている。マイナス金利・低金利が持続する環境において、債券投

資がより困難になり、これまでのようにポートフォリオに分散効果を提供できないため、金を代替として加える動きも見られる。

一方、金は保有してもキャッシュフローを生まないとの指摘がよくあるが、トータル・リターンで見れば、過去20年の金の平均年間リターンは約10%、株式や債券よりも高い。過去10年や過去5年で見た場合でも、それぞれ6%および3.5%ほどあり、底堅いリターンが期待できるため、金の投入はポートフォリオのリスク調整後リターンの向上を目指す投資家のニーズにも応えられる。

では、金はなぜリスクヘッジとして機能するのか？最大の理由はその需要構造にある

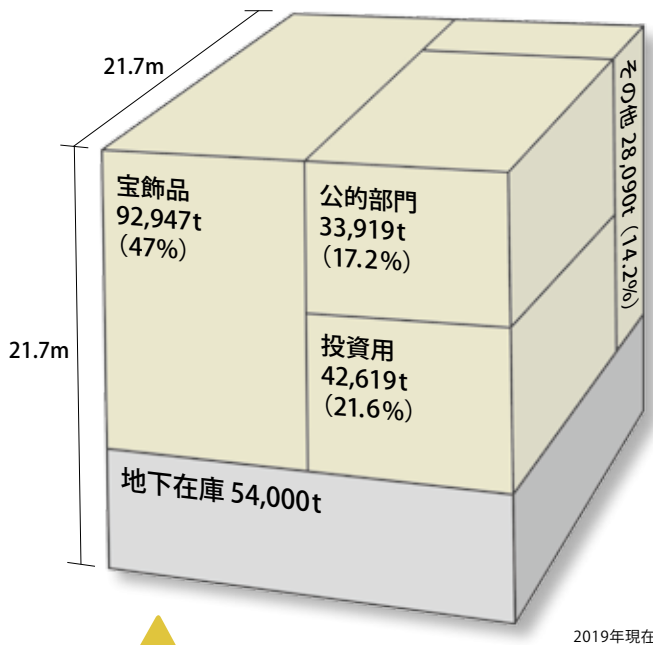
## ■投資家が金を求める理由～テールリスクに強い(図2)



※VIXは1990年1月以降のみ利用可能。それ以前の出来事については、代替として30日のS&P 500ボラティリティの年率換算値を用いる。適用した期間：ブラックマンデー：1987年9月～1987年11月、LTCM：1998年8月、ドットコム：2000年3月～2001年3月、9.11：2001年9月、2002年リセッション：2002年3月～2002年7月、グレートリセッション：2007年10月～2009年2月、第一次公的債務危機：2010年1月～2010年6月、第二次公的債務危機：2011年2月～2011年10月、Brexit：2016年6月23日～2016年6月27日、2018年景気減速：2018年10月～2018年12月。

出所：ブルームバーグ、ワールドゴールドカウンシル  
ワールドゴールドカウンシルレポート：「戦略的資産としての金の重要性」2020年5月より

■金の地上在庫の内訳～分散された需要（図3）



**地上在庫 = 197,576トン**

出所：Metals Focus; Thomson Reuters GFMS; US Geological Survey; World Gold Council

(図3参照)。地上にある金の内訳を見ると、宝飾品、投資用途、中央銀行による外貨準備保有、産業用がそれぞれ47%、22%、17%、14%を占めており、需要は分散されている。また、最大の宝飾需要国であるインドと中国は婚礼・宗教行事・非常時の備え用、投資家の多くはリスクヘッジ目的、そして、中央銀行は外貨準備における通貨分散として、おのおの異なる理由とタイミングで金を購入するため、金価格は株などの主要金融商品と異なる値動きを見せ、リスクヘッジ機能を提供できる。

今回の高値更新を牽引したのは、市場リスクの上昇がもたらす投資需要の増加であるが、金価格に影響を与える要因は他にもある(図4参

照)。まず、投資分野以外の需要動向も極めて重要であり、総需要が堅調であるほど、金価格にはプラスであり、その逆も然りである。また、金利傾向、米ドルの強さ、株価の行方なども金価格を左右する要因となりうる。配当も金利も生まない金は、低金利環境において投資魅力が相対的に上昇し、さらに、金は米ドルと逆相関の関係にあり、ドルの価値が下落すると金価格は上昇する。一方、株価が好調で市場がリスクオン状態にあるときは、リスクヘッジに対するニーズが減少し、金に対する関心が薄れる。今後の金価格の方向性や持続性を占う上で、当然、これらの要因に対する見方がヒントとなる。

マクロ政治・経済については、コロナウイルスの拡大、世界経済の成長鈍化、米中貿易摩擦、北朝鮮問題、英国のEU離脱など、リスクがむしろ増大している感がある。そのため、投資環境の不確実性をヘッジする目的で金を保有している投資家は、しばらく市場から退出する可能性は低く、さらに購入を増やす兆しさもある。また、最大の需要家グループである中国・インドは、経済成長に伴う中間層の増加が宝飾需要を支える最大の要因であり、コロナウイルスなど、マクロ環境がもたらす短期的な変動を乗り越える構造的な強さがいまだに維持されている。さらに、中央銀行セクターは、過去最高の購入レベルから低下したものの、2020年も持続的に保有を増やしており、通貨分散などの政策目的がいまだ達していないことを示唆している。実際、コロナウイルスの影響が甚大だった2020年上半期においても、金総需要は6%の

■金価格に影響を与える要因 (図4)

|       |   |
|-------|---|
| 短期要因  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・FRBの金利政策 → 実質マイナス金利へ</li> <li>・実質ドル為替レート → 構造的に上昇する背景が弱まる</li> <li>・株式市場の好況 → 企業業績ピークアウト・クレジットサイクルの反転</li> </ul>  |
| 中長期要因 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要：中国・インド → 中間層の増加によって支えられる可能性大</li> <li>中央銀行 → 外貨準備通貨分散への追求が継続</li> <li>機関投資家 → リスクヘッジ・資産分散ニーズが上昇</li> <li>・市場リスクと不確実性 → しばらく構造的に低下しない可能性が大</li> </ul> |
| その他要因 | モメンタム、COVID-19  |

減少にとどまり、堅調さを見せた。

金価格に影響を与える短期要因に目を向けると、コロナウイルス対策として、各国の政府・中央銀行が打ち出したさらなる金融緩和策や財政出動は、低金利環境がしばらく定着することを意識させ、キャッシュフローを生まない金の相対的な投資優位性を高め、今回の価格高騰をもたらす要因の一つとなった。また、現在の米国経済やコロナウイルス感染の現状を考えると、米ドル為替レートが現在より構造的に底上げされ、金価格に不利に働く可能性は高くないと思われる。さらに、ピークアウト感がある企業業績や信用サイクルの反転悪化など、株式市場を警戒する材料が増加しているため、当分の間、金にとって好ましい市場環境が反転するリスクは低いと考える人が多いのではないだろうか。

一方、注意点もある。コロナウイルスの拡大が収まらず、再び世界各国で都市封鎖策などが

取られた場合、心理的な影響に加え、金製品を購入する物理的な行動は制限されるため、消費者需要が大きく落ち込む恐れがある。加えて、投資ニーズの増加などによって、金価格が上昇すれば、宝飾需要がさらに低迷を深める可能性がある。なぜなら、価格上昇局面において、一般的に、消費者は様子見の姿勢を取り、金の購入を一時的に遅らせる行動パターンがしばしば観察されているため、宝飾需要の減少スパイラルが懸念されるからである。確かに金価格が上昇すると、ETFなどの投資ニーズも増加する可能性が高いが、全体の過半を占める消費者需要の落ち込みを持続的に補うには力不足感がある。堅調な需要を伴わない金価格の上昇持続力は、自ずと限界があると言わざるを得ない。さらに、需要構造が大きく変化すると、金のリスクヘッジ提供機能にも影響する可能性がある。コロナウイルスの早期収束を願うばかりである。



# 自分だけの意味を込めたプラチナ・ジュエリー PGIの新キャンペーン

プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社

代表取締役社長 ハンキンソン 尚子 (はんきんそん ひさこ)



日々変わりゆく時代の中で、永遠に価値の変わらない貴金属に注目が集まっています。しかし、ジュエリーとしての正しい知識を持ち、将来にわたり愛着を持って所有し続けてくれる消費者は、特に若い世代においては決して多くはありません。プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) では、若い女性の心に寄り添うプラチナ・ジュエリーの訴求が必須であると考え、2020年末に、複数のブランドと共同で新たなキャンペーンを立ち上げます。そして将来にわたるプラチナ・ジュエリーのユーザーを育て、宝飾業界の未来に貢献してまいります。

## 次世代のプラチナ・ジュエリー消費者を育成

PGIでは、次世代のプラチナ・ジュエリーの消費者を育成するために、1年以上の時間をかけて準備を進めてまいりました。コロナ禍以前にPGIが委託した第三者機関の調査報告によると、20～30代女性はジュエリーに一番興味を持つ層でもあり、ジュエリーの選択肢がオープンで好みはまだ固まっていません。現在74%の女性が結婚・出産後も働くという状況のため、自己購入という面からも期待できる層です。若いうちにプラチナ・ジュエリーを入手することでジュエリー全般に対する嗜好性が高まり、ヘビーユーザーへの育成につながります。

なお新型コロナウイルスの影響がジュエリー消費にどの程度影響を落としているかについても、興味深い調査結果があります。今年5月にPGIが全国で実施した20～69歳の男女1000名を対象にした調査では、約55%の消費者が、コロナ禍が収束したら自分のためのジュエリーにはコロナ前と同額またはより高い金額を使う考えです。その時購入したいラグジュアリーグッズとして女性だけの回答者で見ると、ジュエリーは1位(59%)で、最も購入したいアイテムとなりました(旅行

55%、時計51%)。さらに収束を待たずコロナ禍の中にあっても、62%の女性がジュエリーにお金を使う意思があると回答しています。ジュエリーは価格だけの価値にとどまらず、持つ人がそれぞれ自分だけの意味を込められる特別なアイテムです。コロナ禍で自分の内面を見つめ直す人が増え、表面的な価値ではなく、永く使えて自分だけのストーリーを創ることができるアイテムを入手したいという、理由のある購入意向が大きく上昇したと言えます。

以上の調査結果からPGIでは、20～30代の若い女性に向け、自分自身を投影することができるプラチナ・ジュエリーを、購入しやすい環境と価格帯で提供するための新たなプロジェクトを構築しました。現在、そしてこれからの時代に求められるものとして、価値が変わらず自分の気持ちを永く託せるプラチナ・ジュエリーこそが最も相応しいアイテムであることを、広く訴求していきます。

## ソーシャルメディアとECを連動したムーブメント作り

今年1月に行った消費者調査(20～35歳女性フォーカスグループインタビュー)では、多くの課題が浮き彫りになりました。プラチナ・ジュエリーは「結婚指輪」のイメージが強く、「手の届か



ない価格帯の成熟した女性向けのジュエリー」といった、「今の自分にはやや遠い存在」という認識や、「プラチナについてよく知らない」、「フォローしているインスタグラマー等が取り上げていない」と、プラチナ・ジュエリーそのものに出会うチャンスが少ないことも顕著になりました。

そのため今回のキャンペーンにおいては、何よりも、ターゲット層が関心を持つソーシャルメ

ディア上で話題を作ること、そして、購入しやすい価格帯で購入しやすい環境を提供することに注力しています。複数の国内のリーディングジュエリーブランドとパートナーシップを組み、オンラインで話題を喚起し購買につなげることで次世代消費者を育成するものです。ジュエリーに接する機会が少なくなった現代の若い女性に向けて、プラチナへの興味や憧れを醸成し、パートナー社のキャンペーンサイトへ誘導して購入につなげます。

コアターゲットには20代半ばの働く女性を据え、ターゲット層に最も影響力があり知名度の高いアンバサダーを起用してソーシャルムーブメント化を図ります。また、彼女たちの生き方を応援し共感できるデザイン・コンセプトのもと、上代設定を10万円以下に限定することで「今の自分に欲しいプラチナ」としてターゲット層のプラチナ・ジュエリーへの認識を改めます。新型コロナウイルスが蔓延する状況で一層定着している各種オンラインメディアにコミュニケーションを特化することでEコマースに確実に連携させ、興味喚起と購買を合わせて促進することにフォーカスします。

PGIではこれまでの基本的な活動に加え、この新キャンペーンを複数年の中核プロジェクトとして見据え、総力を挙げて取り組んでまいります。



# 「2020プラチナ・ジュエリービジネス・レビュー」

PGIが活動拠点を置く日本、中国、インド、アメリカの4か国における2019年の調査結果が、「プラチナ・ジュエリービジネス・レビュー」として今年5月に報告されました。なお今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、オンラインによる発表となりました。

## 日本

消費税増税前の駆け込み需要はジュエリー全般に貢献し、プラチナでは50万円以上の高価格帯や10万円以下のファッションジュエリーが伸びました。また令和元年婚では、婚約指輪で92.5%、結婚指輪で79.5%とメタルシェアを伸ばしたことなどから、プラチナの小売販売は前年比1.8%増と、7年連続で成長を見せています。大振りな地金ジュエリーコレクション「ハローミー・プラチナ」も販売が開始され、熟年富裕層のさらなる需要開拓が期待されます。

## 中国

景気の減速と業界の不確実性が、ジュエリー全体、特にプラチナの小売販売に引き続き影響し、PGIのパートナー社におけるプラチナの小売販売は前年比13.5%減少しました。PGI中国では、プラチナ・ジュエリー業界の変革を加速すべく戦略実行に着手し、主要ジュエラーと共同での新コレクションの発売、業界向けのショールームのオープン、ショッピングモールでの新商品の販売応援などを実施しました。こうした施策により、大手小売業者のプラチナビジネスがU字回復するなどの好例が複数見られています。

## インド

銀行の貸し渋りと金地金価格の上昇により、ジュエリー小売業者は回転率と利益獲得に集中せざるを得なくなり、これがプラチナビジネスにとっては追い風となっています。PGIの各種施策を通して、インドでのプラチナ・ジュエリーの売上は大きく伸びました。パートナー社での2019年の小売販売は前年比14%増となり、戦略的パートナー社においては前年比33%増と、さらに強い成長を記録しました。またメンズ・ジュエリーの需要開拓を目的とした新ブランド「メン・オブ・プラチナ」も販売開始されました。

## アメリカ

アメリカでは7年連続でプラチナ・ジュエリーの小売販売が伸び、前年比4%増の成長となりました。PGIが牽引する「プラチナ・クラウン」プログラムでの新規販売チャネル拡大が、小売販売増に貢献しています。また、日米PGIのコラボレーションによって生まれた「プラチナ・ボーン」では、ソーシャルメディアやセレブリティを活用した戦略的なデジタルマーケティングの強化や、オンライン販売の開始により、前年比39%増の売上を記録しました。

# 金価格 月間平均 の長期推移と主なイベント

国際金価格  
(ドル/オンス)

2,000

海外

1,750

1,500

1,250

1,000

750

500

250

0

71 73 74

76

78

1980

82

84

71 8月「金とドルの兌換停止」を発表  
73 10月第4次中東戦争勃発で第1次オイルショック  
国際為替相場が変動相場制へ移行

79 2月 イラン革命を受けて第2次オイルショック

79 11月 イランアメリカ大使館人質占拠事件

79 12月 旧ソ連アフガニスタン侵攻

80 1月 ドル建て金価格暴騰 (850ドルを記録)

80 9月 イラン・イラク全面戦争に突入

82 9月 中南米諸国で債務危機発生

83 2月 OPEC石油価格大幅値下げ

84 2月 イラン・イラク戦争激化で中東情勢緊迫

国内

73年

■ 4月  
金の輸入自由化

78年

■ 4月  
金の輸出入自由化  
(完全自由化)

79年

■ 12月  
社団法人日本金地金  
流通協会が設立認可  
■ 年末  
第1次金ブーム

80年

■ 1月  
円建て金価格最高値  
6,495円を記録  
■ 12月  
南ア・クレーガー  
ランド金貨発売

81年

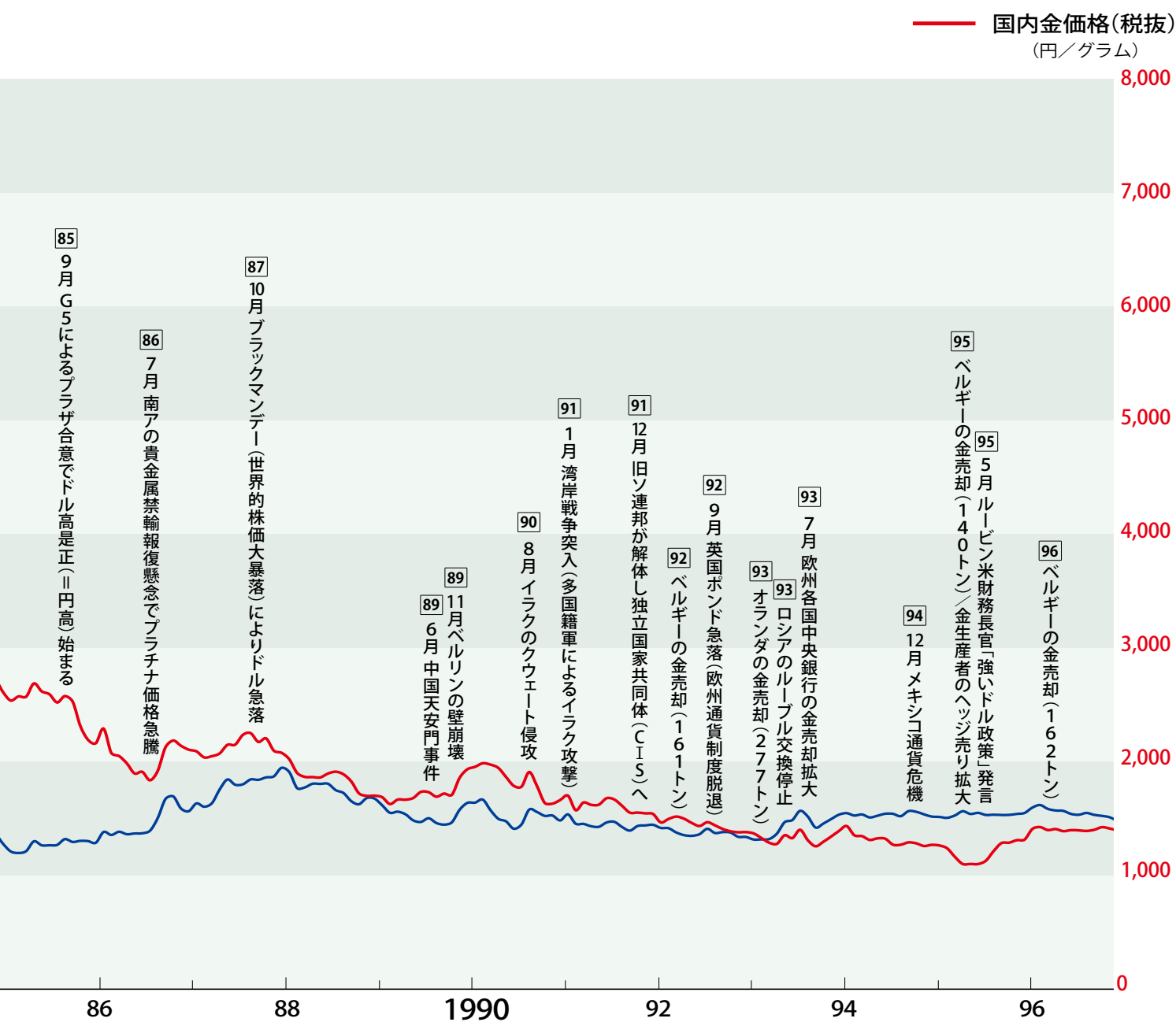
■ 11月  
第2次金ブーム

82年

■ 4月  
銀行・証券会社が  
金売買を開始  
■ 9月  
第3次金ブーム



# 1971-1996



**85年**  
■10月  
南ア・アパルト  
ヘイトを受けて  
クルーガーランド  
金貨輸入自粛

**86年**  
■4月  
ドル円相場  
200円割れ  
■11月  
天皇陛下御在位  
六十年記念金貨発行

**87年**  
■4月  
ドル円相場  
150円割れ  
■12月  
ドル円相場  
120円台へ

**88年**  
■7月  
地金商の  
小売価格体系変更  
(1日4回発表に)

**89年**  
■4月  
消費税  
導入(3%)

■11月  
オーストリアの  
ウィーン金貨発売

**90年**  
■4月  
天皇陛下御即位  
記念金貨発行

**91年**  
■3月  
バブル崩壊  
始まる

**94年**  
■7月  
ドル円相場  
100円割れ

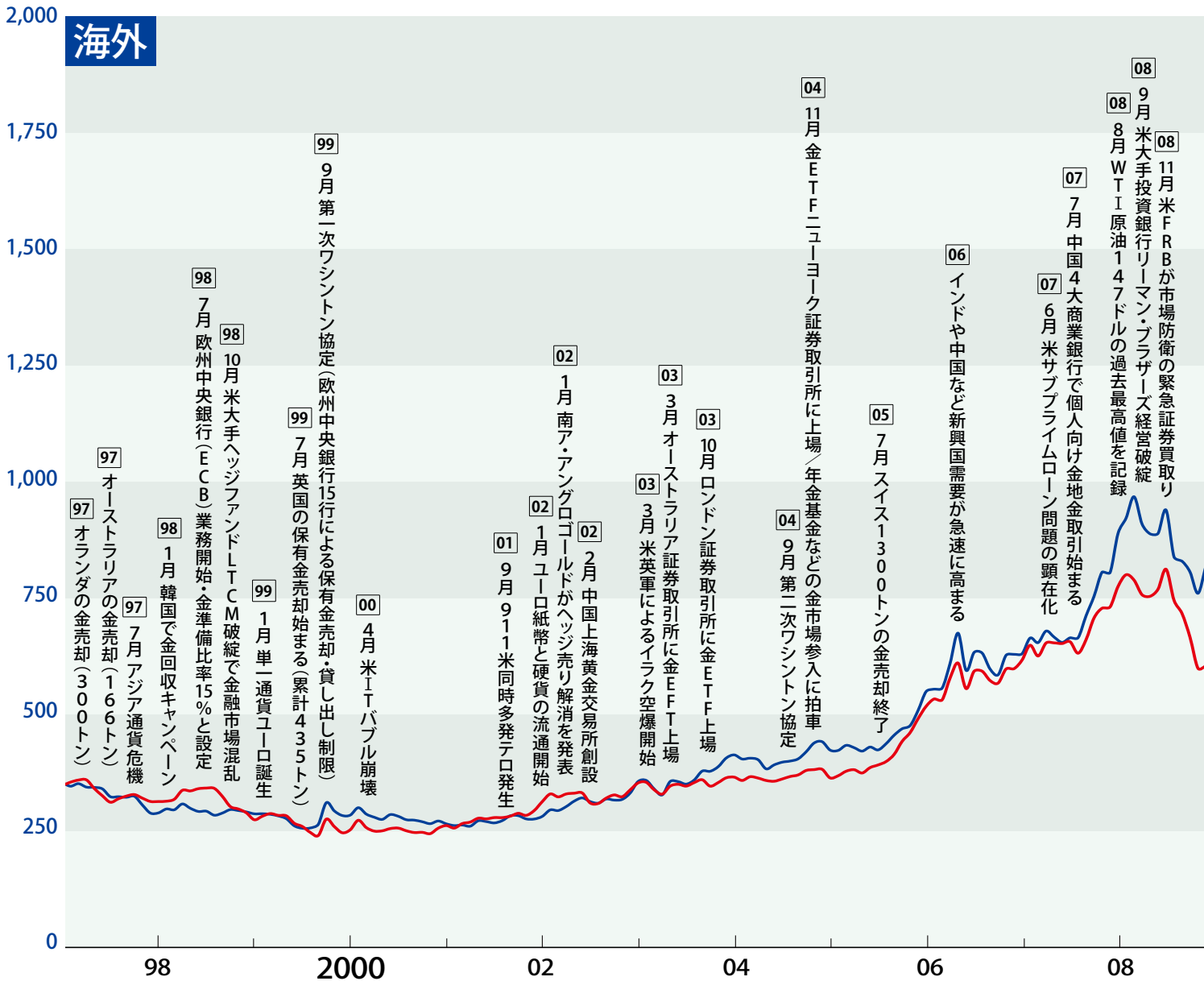
**95年**  
■1月  
阪神淡路大震災  
■3月  
地下鉄サリン  
事件発生  
■4月  
円相場対ドルで  
79.75円の史上  
最高値  
(2011年3月に更新)

**96年**  
日本版・金融  
ビッグバン始まる

# 1997-2020

## 国際金価格

(ドル/オンス)



## 国内

### 97年

- 4月 消費税5%に
- 11月 山一証券が経営破綻  
北海道拓殖銀行が経営破綻

### 98年

- 12月 日本債権信用銀行が経営破綻

### 99年

- 9月 円建て金価格1,000円の  
大台を割込む

### 01年

- 3月 日本銀行・初の量的緩和  
始まる(5年間)

### 03年

- 5月 リソな銀行へ公的資金注入

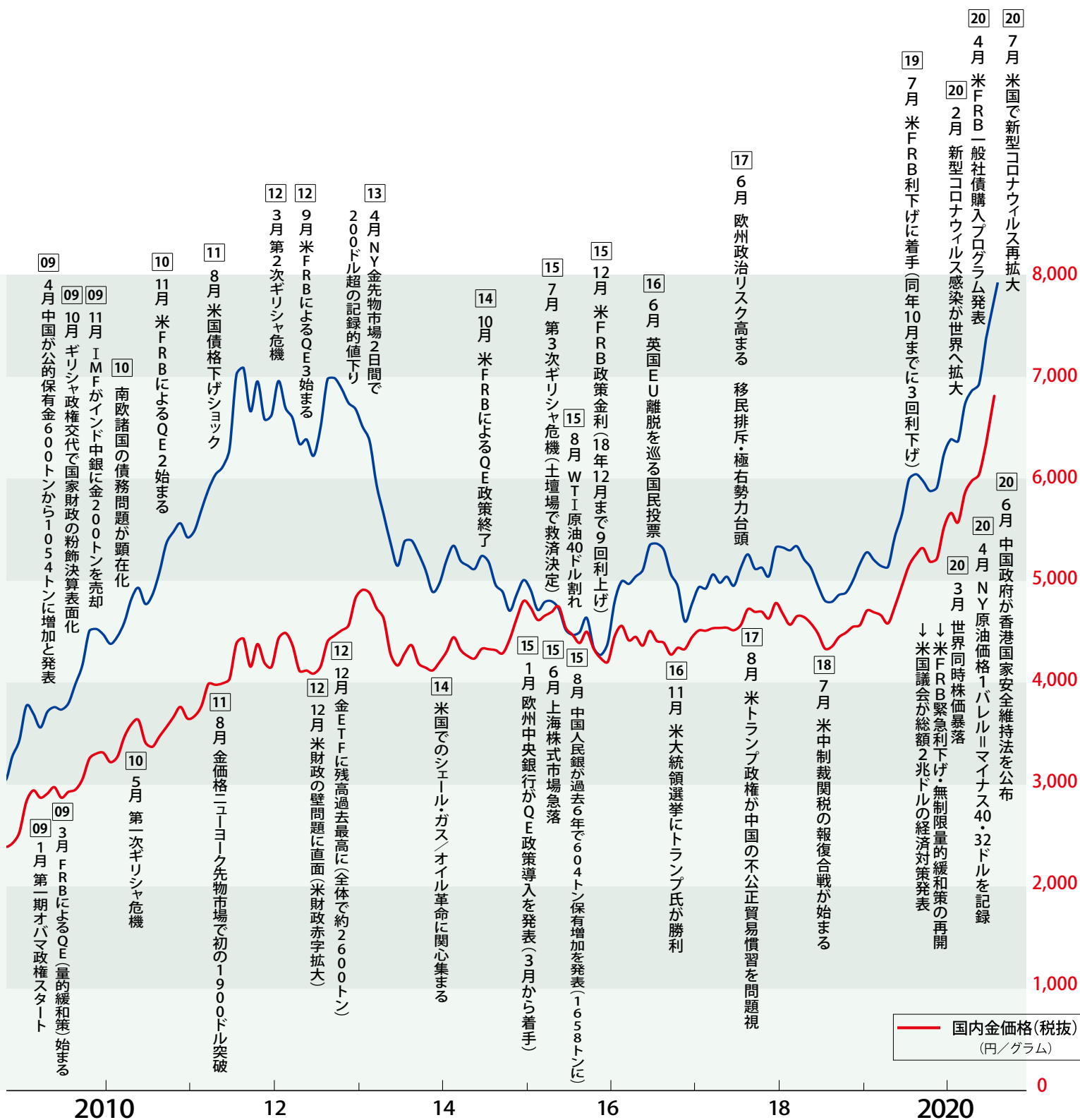
### 05年

- 4月 ペイオフ  
全面解禁

### 08年

- 3月 犯罪収益移転  
防止法施行





**11年**

■3月  
東日本大震災発生・福島原発メルトダウン  
東京証券取引所に金ETF上場  
ドル円相場75.17円の史上最高値を付ける

**12年**

■1月  
支払調書制度施行(金・プラチナ)  
■12月  
自民党第2次安倍政権誕生・アベノミクス始まる

**13年**

■2月  
金店頭小売価格5000円台に(税抜)  
■4月  
日本銀行による異次元量的緩和が始まる

**14年**

■4月  
消費税8%に  
■10月  
日本銀行追加緩和策発表年間80兆円の国債買取り

**15年**

金密輸問題がクローズアップ

**19年**

■10月  
消費税率10%へ引上げ

**20年**

■4月  
日銀が国債購入額を変更(年間80兆円から無制限に)  
■5月  
特別定額給付金の支給(全国民に一律10万円)  
■7月  
金店頭小売価格史上最高値を更新

\* 2020年版需給レポートは新型コロナウイルス感染拡大の影響で未発表です。

# 日本金地金流通協会・沿革と活動

## 協会の設立と目的ならびに会員構成

昭和54年12月、金地金の健全な取引と正しい知識の普及をはかるために発足した当協会は、皆様のご支援のもとに、40年を経過しようとしています。この間、広報、調査、教育等の活動を中心に、所期の目的を果たすべく努力を傾注し、これにより世界の金・プラチナ地金流通機構の一環として社会の信頼と世界的な相互関係を確保することが達成し得たと申せましょう。

当協会は、令和2年9月現在下記の構成で結束を固め、日本の金・プラチナ市場のいっそうの発展に寄与していく所存です。

|      |      |         |
|------|------|---------|
| 正会員  | 23社  |         |
| 特別会員 | 2社   |         |
| 登録店  | 157社 |         |
| 賛助会員 | 25社  | 合計 207社 |

## 協会の沿革と日本の金市場

現在の「一般社団法人 日本金地金流通協会」の沿革は、昭和22年4月に結成され、昭和28年7月に発展的に解散された「貴金属協議会」に端を発しております。

昭和28年8月に政府の金政策の転換により金管理法の一部が改正され、国内新産金の一部（後に全部）の民間放出が認められることになり、前述の貴金属協議会は発展的に解散となり、貴金属

地金商14社、1協同組合が新たに「貴金属地金協会」を結成しました。

昭和48年4月、金の輸入自由化とともにデパート等で金の販売がスタート。昭和53年、輸出の自由化も実施され、わが国では金の取引が完全に自由化されました。年々急増するわが国の金需要に関連して、金地金に関する知識や取引形態についての理解の不足などから、無秩序に出現した私設の金市場による一般消費者の被害も多発し、社会的な問題となってきました。

このような背景の中で、金地金の健全な流通機構の整備と正しい知識の普及を目的として、貴金属地金協会会員が中心となり、昭和54年12月28日、通商産業省（現・経済産業省）から社団法人 日本金地金流通協会の設立が認可され、昭和55年1月より活動を開始しました。その後、平成25年4月1日付けで一般社団法人へ移行し現在に至っております。

以降、金やプラチナの正しい取引についての啓蒙活動を積極的に展開する一方、講演会の開催、会員のための研修会開催、悪質な取引に関する注意喚起など、幅広く活動を行っております。また、平成12年4月からインターネット上にホームページを開設し、会員会社の紹介を行うとともに、一般消費者に対して金地金等の貴金属に関する各種の情報提供を行っております。

## 協会役員紹介

|      |        |                  |              |
|------|--------|------------------|--------------|
| 会長   | 田苗 明   | 田中貴金属工業株式会社      | 代表取締役会長      |
| 副会長  | 中村 茂幸  | 石福金属興業株式会社       | 代表取締役 社長執行役員 |
| 副会長  | 大浦 良幸  | 大浦貴金属工業株式会社      | 代表取締役社長      |
| 専務理事 | 南澤 正孝  | 一般社団法人 日本金地金流通協会 |              |
| 理事   | 山口 純   | 株式会社 徳力本店        | 代表取締役社長      |
| 理事   | 五木田 春夫 | 小島化学薬品株式会社       | 代表取締役社長      |
| 理事   | 井嶋 隆之  | 井嶋金銀工業株式会社       | 代表取締役社長      |
| 理事   | 相田 英則  | 相田化学工業株式会社       | 代表取締役社長      |
| 理事   | 堤田 龍治  | 堤田貴金属工業株式会社      | 代表取締役社長      |
| 理事   | 山本 樹育  | YAMAKIN 株式会社     | 代表取締役社長      |
| 監事   | 片桐 俊一  | 片桐貴金属工業株式会社      | 代表取締役社長      |
| 監事   | 竹内 忠夫  | 竹内貴金属工業株式会社      | 代表取締役社長      |



# 正会員

当協会正会員23社が販売する金地金には、それぞれの《刻印》が押されており、信頼のシンボルになっています。



**株式会社 アサカ理研**  
〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字マセロ47  
TEL.024-944-4744 FAX.024-944-4766  
www.asaka.co.jp



**田中貴金属工業株式会社**  
〒100-6422 東京都千代田区丸の内2-7-3  
東京ビルディング22F  
TEL.03-6311-5511 FAX.03-6311-5571  
gold.tanaka.co.jp



**相田化学工業株式会社**  
〒183-0026 東京都府中市南町6-15-13  
TEL.042-368-6311 FAX.042-368-6316  
www.aida-j.jp



**株式会社 徳力本店**  
〒101-8548 東京都千代田区鍛冶町2-9-12  
TEL.03-3252-0171 FAX.03-3258-1234  
www.tokuriki-kanda.co.jp



**アサヒプリテック株式会社**  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
サピアタワー11F  
TEL.03-6270-1826 FAX.03-6270-1825  
www.asahipretec.com



**中溝貴金属工業株式会社**  
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-16-7  
TEL.03-3491-4141 FAX.03-3490-4550



**石福金属興業株式会社**  
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7  
TEL.03-3252-3131 FAX.03-3254-6285  
www.ishifuku.co.jp



**株式会社 フルヤ金属**  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-37-5  
MSB-21南大塚ビル  
TEL.03-5977-3487 FAX.03-5977-3371  
www.furuyametals.co.jp



**井島貴金属精錬株式会社**  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-50-10  
TEL.03-3803-1705 FAX.03-3803-2492  
ijima-tokyo.co.jp



**松田産業株式会社**  
〒163-0558 東京都新宿区西新宿1-26-2  
新宿野村ビル6F  
TEL.03-3345-0811 FAX.03-3345-8605  
www.matsuda-sangyo.co.jp



**井嶋金銀工業株式会社**  
〒116-8543 東京都荒川区東日暮里5-47-10  
TEL.03-3803-4341 FAX.03-3802-4775  
www.ijimakk.co.jp



**株式会社 松村金銀店**  
〒124-0013 東京都葛飾区東立石3-11-7  
TEL.03-3694-0173 FAX.03-3691-4601  
www.matsumurakinginten.co.jp



**片桐貴金属工業株式会社**  
〒114-0012 東京都北区田端新町3-11-2  
TEL.03-3894-4111 FAX.03-3894-4178  
www.katagiri-k-k.co.jp



**水野ハンディー・ハーマン株式会社**  
〒110-0014 東京都台東区北上野2-11-12  
TEL.03-3844-6161 FAX.03-3844-6150  
www.mhh.co.jp



**小島化学薬品株式会社**  
〒350-1335 埼玉県狭山市柏原337-26  
TEL.04-2953-9231 FAX.04-2953-9237  
www.kojima-c.co.jp



**横浜金属株式会社**  
〒252-0132 相模原市緑区橋本台3-5-2  
TEL.042-773-4411 FAX.042-773-4775  
www.yk-metal.com



**竹内貴金属工業株式会社**  
〒108-0071 東京都港区白金台1-2-10  
藤和白金台コープB101  
TEL.03-3447-0321 FAX.03-3447-0340  
www.takeuchi-kk.com



**株式会社 森銀**  
〒400-0834 山梨県甲府市落合町681-1  
TEL.055-241-6611 FAX.055-241-7988  
www.morigin.co.jp

# 正会員



**大浦貴金属工業株式会社**  
〒630-8042 奈良県奈良市西ノ京町284  
TEL.0742-33-8545 FAX.0742-34-7884  
www.ohura.co.jp



**堤田貴金属工業株式会社**  
〒733-0012 広島市西区中広町2-14-23  
TEL.082-293-2233 FAX.082-295-0643  
www.gold-tsutsumida.co.jp



**乾庄貴金属化工株式会社**  
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-10-8  
TEL.06-6643-1234 FAX.06-6643-4598  
www.prcimtl.co.jp



**株式会社 松井商会**  
〒874-0942 大分県別府市千代町4-2  
TEL.0977-22-4045 FAX.0977-23-3226  
www.matsuishokai.net



**YAMAKIN株式会社**  
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町3-7  
TEL.06-6761-4739 FAX.06-6761-4743  
www.yamakin-gold.co.jp

# 特別会員



**WORLD GOLD COUNCIL** ワールド ゴールド カウンシル  
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-20-709



PLATINUM

**プラチナ・ギルド・  
インターナショナル株式会社**  
〒100-8575 東京都千代田区内幸町1-1-1  
帝国ホテル本館5F-506

※ホームページURL冒頭の「http://」は省略しております。

## 貴金属情報

ワールド ゴールド カウンシル (英文) ..... [www.gold.org](http://www.gold.org)  
プラチナ・ギルド・インターナショナル 株式会社 ..... [www.preciousplatinum.jp](http://www.preciousplatinum.jp)  
Refinitive (旧THOMSON REUTERS / 英文) ..... [refinitive.com](http://refinitive.com)  
KITCO (英文: 価格情報をリアルタイムでチャート表示) ..... [www.kitco.com](http://www.kitco.com)  
The Bullion Desk (英文: 英語圏のニュース、レポート) ..... [www.bulliondesk.com](http://www.bulliondesk.com)

## 貴金属の需給レポート

世界の貴金属需給レポート ..... [gold.tanaka.co.jp/statistics/index.html](http://gold.tanaka.co.jp/statistics/index.html)

\* 2020年版需給レポートは新型コロナウイルス感染拡大の影響で未発表です。

# 登録店

## ■北海道

### 風早金銀店

〒060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目  
TEL.011-231-2213 FAX.011-231-7457

### (株) 宝石の玉屋

〒060-0002 札幌市中央区北2条西3丁目-1  
敷島ビル1F  
TEL.011-231-4517 FAX.011-222-1892

### 時計・宝石いしおか

〒080-0012 帯広市西2条南8丁目  
藤丸デパート6F  
TEL.0155-24-0936 FAX.0155-23-3193

### ヘリテージ・キムラ

〒053-0022 苫小牧市表町3-2-11  
TEL.0144-34-6511 FAX.0144-36-4877

### (株) ワジ渡辺時計店

〒040-0063 函館市若松町17-9  
TEL.0138-23-4111 FAX.0138-26-2818

### (株) 日昇堂

〒050-0074 室蘭市中島町1-18-4  
TEL.0143-44-4476 FAX.0143-44-6321

### (株) 藤屋時計店

〒050-0085 室蘭市輪西町1-19-5  
TEL.0143-44-5551 FAX.0143-43-8035

## ■青森県

### (株) 丸啓

〒030-0823 青森市橋本3-4-15 KS葛西ビル2F  
TEL.0177-23-2611 FAX.0177-23-2622

### (株) マエバラ

〒031-0031 八戸市番町30  
TEL.0178-45-6677 FAX.0178-45-6728

### (株) 高橋時計店

〒035-0035 むつ市本町3-9  
TEL.0175-22-3010 FAX.0175-22-3979

## ■秋田県

### (株) 竹谷本店

〒010-0001 秋田市中通2-4-3  
TEL.018-835-1331 FAX.018-832-1906

## ■宮城県

### ギンザ タナカ 仙台店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-11-1  
仙台三越定禅寺通り館 1F  
TEL.022-265-4130 FAX.022-265-4131

### (株) 三原本店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-2-23  
TEL.022-224-0010 FAX.022-224-0536

### (株) ナガハシ

〒989-0275 白石市字本町105  
TEL.0224-25-1188 FAX.0224-25-1189

### (株) 天賞堂

〒989-6163 大崎市古川台町1-7  
TEL.0229-23-5151 FAX.0229-23-7842

## ■福島県

### (株) 三瓶貴金属店

〒960-8036 福島市新町2-30  
TEL.024-522-8451 FAX.024-522-5538

### (株) ネモト

〒970-8026 いわき市平3-24  
TEL.0246-25-5566 FAX.0246-23-8089

### ワタナベ

〒970-8026 いわき市平2-33-1  
TEL.0246-22-2131 FAX.0246-22-2132

### (株) 増子時計店

〒963-8002 郡山市駅前2-6-19  
TEL.024-922-3456 FAX.024-932-2566

### (有) サトウ時計店

〒965-0878 会津若松市中町1-1  
TEL.0242-27-1290 FAX.0242-27-4120

### (株) 石沢

〒964-0906 二本松市若宮2-154-15  
TEL.0243-23-0431 FAX.0243-23-0453

## ■岩手県

### (株) 道又時計店

〒020-0022 盛岡市大通り3-1-18  
TEL.019-651-1234 FAX.019-651-1238

### ジュエリーかまた 盛岡本宮店

〒020-0866 盛岡市本宮4-33-21  
TEL.019-601-5882 FAX.019-601-5883

### (有) 松村時計店

〒024-0094 北上市本通り2-3-43  
TEL.0197-65-3201 FAX.0197-65-2085

### (株) おくやま

〒025-0078 花巻市吹張町12-11  
TEL.0198-22-3333 FAX.0198-22-6770

## ■山形県

### (株) 平田金銀店

〒990-0039 山形市香澄町3-1-1  
TEL.023-622-5540 FAX.023-641-3214

### (株) 宝石の柿崎

〒996-0023 新庄市沖の町5-13  
TEL.0233-22-3115 FAX.0233-22-2542

### (有) 佐藤正栄堂

〒997-0034 鶴岡市本町2-2-10  
TEL.0235-22-0554 FAX.0235-24-9350

### (株) 新光堂本店

〒994-0049 天童市南町1-1-15  
TEL.023-654-5626 FAX.023-654-5621

## ■茨城県

### (株) ジュエリーネモト

〒310-0852 水戸市笠原町300-1  
TEL.029-305-1811 FAX.029-305-1671

### (株) イシカワ

〒310-0021 水戸市南町3-4-8  
TEL.029-225-3939 FAX.029-225-3936

### (有) 中村時計店

〒306-0033 古河市中央町1-10-43  
TEL.0280-22-0654 FAX.0280-22-0656

## ■栃木県

### (有) 今泉貴金属

〒320-0023 宇都宮市仲町1-13  
TEL.028-622-3573 FAX.028-624-5010

### (有) トコヨ時計店

〒320-0802 宇都宮市江野町5-10  
TEL.028-634-9057 FAX.028-634-9057

### (株) 博泉堂

〒320-0026 宇都宮市馬場通り2-3-8  
TEL.028-635-1811 FAX.028-633-3366

### (株) フタバ堂

〒326-0814 足利市通2-2618  
TEL.0284-22-0234 FAX.0284-20-1025

### (株) ジュエルエレガンス

〒323-0829 小山市東城南1-31-7  
TEL.0285-31-4866 FAX.0285-31-4867

## ■群馬県

### ラフィーネ平田

〒371-0831 前橋市小相木町545-1  
TEL.027-252-8828 FAX.027-251-0862

### パルク岡村

〒372-0047 伊勢崎市本町3-23  
TEL.0270-25-0131 FAX.0270-25-3211

### イトイ本店

〒373-0817 太田市飯塚町1434-1  
TEL.0276-45-1477 FAX.0276-49-3181

## ■埼玉県

### (株) ツツミ

〒335-0004 蕨市中央4-24-26  
TEL.048-431-5111 FAX.048-444-2900



# 登録店

## ■千葉県

### (株)勉強堂本店

〒260-0013 千葉市中央区中央3-15-9  
TEL.043-225-1131 FAX.043-225-8292

### 実香宝石店

〒294-0047 館山市八幡530-1  
TEL.0470-22-0665 FAX.0470-24-1508

## ■東京都

### (株)徳力本店 本社

〒101-8548 千代田区鍛冶町2-9-12  
TEL : 03-3252-0171 FAX : 03-3258-1234

### 石福金属興業(株) 小売店

〒101-0047 千代田区内神田3-20-7  
TEL : 03-3252-3130 FAX : 03-3254-3865

### 中真堂(株)

〒133-0056 江戸川区南小岩7-24-15  
小岩ステーションセンター内  
TEL.03-3672-0424 FAX.03-3672-0560

### (株)フジタ

〒144-0052 大田区蒲田5-8-8  
TEL.03-3731-2980 FAX.03-3736-0821

### (株)山口商店

〒115-0055 北区赤羽西4-1-17  
TEL.03-3900-3655 FAX.03-3906-4389

### (株)明光堂

〒135-0047 江東区富岡1-9-9  
TEL.03-3641-1865 FAX.03-3641-2006

### ギンザ タナカ 新宿店

〒160-0022 新宿区新宿3-33-10  
TEL.03-3355-4143 FAX.03-3355-5321

### 石福ジュエリーパーツ(株)

〒110-0005 台東区上野5-22-6  
御徒町みぎビル  
TEL.03-3832-5241 FAX.03-3836-2063

### (株)大淵銀器

〒110-0015 台東区東上野3-1-13  
TEL.03-3847-7711 FAX.03-3843-1360

### (株)コモキン 本店

〒110-0005 台東区上野1-10-10  
うさぎやビル3F  
TEL.03-3836-0471 FAX.03-3836-1790

### 松本徽章工業(株)

〒111-0041 台東区元浅草1-12-2  
TEL.03-3842-6161 FAX.03-3845-6267

### (株)森銀器製作所

〒110-0015 台東区東上野2-5-12  
TEL.03-3833-8821 FAX.03-3832-3762

### (株)浅野商店

〒104-0061 中央区銀座8-8-5 太陽ビル10F  
TEL.03-3573-1003 FAX.03-3573-2002

### ギンザ タナカ 銀座本店

〒104-0061 中央区銀座1-7-7  
TEL.0120-76-4143 FAX.03-3564-2658

### (株)一誠堂

〒152-0035 目黒区自由が丘1-29-7  
TEL.03-3717-6660 FAX.03-3718-8765

### BIJOUPIKO 表参道店

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-19-6  
TEL.03-3405-0888 FAX.03-3405-0889

## ■神奈川県

### (株)アート宝飾

〒231-0014 横浜市中区常盤町4-45  
TEL.045-662-3111 FAX.045-681-6363

### ギンザ タナカ 横浜元町店

〒231-0861 横浜市中区元町1-29-3  
TEL.045-663-3151 FAX.045-663-3157

### (株)銀美堂

〒251-0047 藤沢市辻堂1-3-2  
TEL.0466-36-5131 FAX.0466-36-5557

## ■山梨県

### 井島貴金属精錬(株) 甲府営業所

〒400-0861 甲府市城東1-8-11  
ルミエール愛宕山1F  
TEL.0552-35-6963 FAX.0552-32-8527

### (株)オプト ナカムラ

〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津2448  
TEL.0555-72-1408 FAX.0555-73-3666

### (株)徳力本店 甲府事業所

〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町  
清水新居100-4  
TEL : 055-231-2600 FAX : 055-231-2002

## ■長野県

### ジュエリー東京 長野店

〒380-0826 長野市北石堂町1381  
TEL.026-226-5556 FAX.026-226-7770

### (有)ツノダ

〒395-0031 飯田市銀座4-1  
TEL.0265-23-1321 FAX.0265-23-1322

### (株)マルトキ

〒396-0025 伊那市荒井22  
TEL.0265-78-2266 FAX.0265-73-6977

### (株)三村貴金属店

〒392-0004 諏訪市諏訪1-5-20  
TEL.0266-52-0625 FAX.0266-52-0630

### (株)ヤマザキ

〒392-0004 諏訪市諏訪1-3-11  
TEL.0266-52-5200 FAX.0266-58-5814

## ■新潟県

### (株)宝石のダイヤ

〒951-8063 新潟市中央区古町通八番町1508  
TEL.025-228-5833 FAX.025-225-4171

### (株)早津

〒943-0832 上越市本町4-1-8  
TEL.025-523-2203 FAX.025-524-0366

### (株)ミヤコヤ

〒940-0062 長岡市大手通1丁目3-3  
TEL.0258-36-2020 FAX.0258-32-1616

## ■静岡県

### (株)安心堂

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2-1-9  
TEL.054-254-0111 FAX.054-247-6651

### (株)タカラ堂

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2-4-4  
TEL.054-254-0141 FAX.054-251-2660

### オザワ宝石(株)

〒422-8042 静岡市駿河区石田3-6-13  
TEL.054-283-2105 FAX.054-285-9275

### (株)三青貴宝

〒410-0037 沼津市三枚橋町5-21 三青ビル  
TEL.055-963-2779 FAX.055-951-0263

### (株)いとう時計店

〒421-0523 牧之原市相良町波津709  
TEL.0548-52-1191 FAX.0548-52-2688

## ■愛知県

### (株)池田商店

〒460-0008 名古屋市中区栄2-5-13  
TEL.052-221-7411 FAX.052-201-6900

### 石福金属興業(株) 名古屋営業所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-22-10  
TEL.052-563-1201 FAX.052-563-1219

### (株)サンメナード

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-24  
ノノガワビル2F  
TEL.052-962-4755 FAX.052-951-4705

### (株)水溪

〒460-0008 名古屋市中区栄3-27-25  
TEL.052-261-2641 FAX.052-261-7093

### ギンザ タナカ 名古屋店

〒460-0011 名古屋市中区大須4-1-70  
TEL.052-262-0277 FAX.052-263-1580

**(株) 柏圭**

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-1  
日土地名古屋ビル14F  
TEL.052-204-1180 FAX.052-204-0660

**(株) エンジェリーいのこ**

〒491-0851 一宮市大江3-1-21  
TEL.0586-71-7474 FAX.0586-71-7477

**(株) 伊藤宝石店**

〒448-0844 刈谷市広小路4-209  
TEL.0566-21-3124 FAX.0566-21-8205

**(株) ニイミ時計店**

〒475-0853 半田市南末広町120-1  
TEL.0569-22-4771 FAX.0569-22-4772

**ジュエリーサトウ**

〒496-0071 津島市新開町1-6 ヨシツヤSC内1F  
TEL.0567-23-2233 FAX.0567-23-7351

■岐阜県

**(株) 岩田時計舗**

〒500-8876 岐阜市日ノ出町1-16  
TEL.058-265-7717 FAX.058-266-0160

**(株) 千賀**

〒500-8833 岐阜市神田町8-15  
TEL.058-265-5566 FAX.058-263-5468

■三重県

**(株) キタオカ**

〒510-0086 四日市市諏訪栄町14-8  
TEL.059-351-2552 FAX.059-354-1954

**(有) 日宝堂**

〒516-0071 伊勢市一之木2-12-10  
日宝会館3F  
TEL : 0596-25-9111 FAX : 0596-28-8100

■富山県

**(株) ソシエハシヅメ**

〒930-0083 富山市総輪輪3-5-10  
TEL.076-425-3838 FAX.076-422-3033

**エルサカエ富山総本店**

〒930-0818 富山市奥田町3-14  
TEL.076-431-3200 FAX.076-442-1177

**(株) 大坪**

〒933-0026 高岡市片原町155  
TEL.0766-25-4255 FAX.0766-26-6165

■石川県

**作田金銀製箔(株)**

〒920-0831 金沢市東山1-3-27  
TEL.076-251-6777 FAX.076-251-6677

**高岡製箔(株)**

〒920-0843 金沢市森山1-30-4  
TEL.076-252-3601 FAX.076-252-7765

**(株) 今井金箔**

〒920-0968 金沢市幸町7-3  
TEL.076-221-1990 FAX.076-223-1659

**(株) 森立志堂**

〒923-0921 小松市土居原町189-2  
TEL.0761-24-1388 FAX.0761-24-1384

■福井県

**(株) 福井ゴールドセンター奥田**

〒910-0004 福井市宝永4-19-3  
TEL.0776-22-3506 FAX.0776-22-3546

**(株) 藤井時計店**

〒910-0006 福井市中央1-5-1  
TEL.0776-22-3375 FAX.0776-22-3349

**(株) 宝石時計の武内**

〒910-0006 福井市中央1-9-28  
TEL.0776-30-7711 FAX.0776-30-7710

**(株) 川上**

〒914-0054 敦賀市白銀町5-27  
TEL.0770-22-0665 FAX.0770-22-6060

■京都府

**(株) ゴールドスリー サイトウ**

〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上ル  
天性寺前町532 北原ビルB1  
TEL.075-241-2468 FAX.075-254-7117

**星辰屋**

〒623-0021 綾部市本町2-2  
TEL.0773-42-2154 FAX.0773-42-2154

**(有) カワモト**

〒621-0818 亀岡市京町28-1  
TEL.077-122-1682 FAX.077-122-2788

**(株) シオミ**

〒625-0036 舞鶴市字浜266  
TEL.0773-62-0370 FAX.0773-64-3806

■奈良県

**(株) エレガンスヨシダ**

〒636-0003 北葛城郡王寺町久度2-2-1  
リーベル王寺東館3F  
TEL.0745-32-1151 FAX.0745-72-1770

■大阪府

**石福金属興業(株) 大阪営業所**

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-3-15  
J E I 西本町ビル1F  
TEL.06-6532-1351 FAX.06-6533-6064

**ギンザ タナカ 心齋橋店**

〒542-0085 大阪市中央区心齋橋筋1-4-21  
TEL.06-6244-4143 FAX.06-6253-4110

**(株) 徳力本店 大阪営業所**

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-11-20  
GATO三休橋ビル1F  
TEL.06-6252-7811 FAX.06-6252-7815

**(株) 新光貴**

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-7-21  
TEL.06-6261-0210 FAX.06-6261-0220

■兵庫県

**(株) タナカ**

〒670-0922 姫路市二階町51  
TEL.079-225-1212 FAX.079-225-1215

**木谷貴金属(株)**

〒650-0022 神戸市中央区元町通1-5-10  
TEL.078-332-5757 FAX.078-391-3664

**(株) 元町時計店**

〒650-0022 神戸市中央区元町通1-8-5  
TEL.078-331-1712 FAX.078-331-1860

**K.G.B.神戸ゴールドバンク**

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6-9 1R-07  
神戸ファッションマート1F  
TEL.078-891-8711 FAX.078-891-8733

**(株) ミヤコ**

〒675-0065 加古川市加古川町篠原町13-4  
TEL.079-422-2232 FAX.079-425-2243

■和歌山県

**(株) セキネ 本店**

〒643-0025 有田郡有田川町土生44-1  
TEL.0737-23-7363 FAX.0737-23-7361

■岡山県

**(株) ジュエリー・タナカ**

〒700-0822 岡山市北区表町2-2-81  
TEL.086-225-2361 FAX.086-232-4448

**(株) トミヤコーポレーション**

〒700-0822 岡山市北区表町2-2-83  
TEL.086-212-1038 FAX.086-235-6565

**菅田(株)**

〒708-0841 津山市川崎1902-3  
TEL.0868-25-1231 FAX.0868-23-1232

**(株) 不二屋宝飾店**

〒708-8520 津山市新魚町17 アルネ津山1F  
TEL.0868-22-3914 FAX.0868-22-3918

# 登録店

## ■鳥取県

### (株)中井脩

〒680-0831 鳥取市栄町623  
TEL.0857-23-5221 FAX.0857-22-8338

### (株)米子中井脩

〒683-0804 米子市米原7-1-14  
TEL.0859-33-5566 FAX.0859-22-2219

## ■島根県

### (有)創美堂

〒690-0843 松江市末次本町29  
TEL.0852-21-4100 FAX.0852-27-4100

### (株)アツタ

〒693-0004 出雲市渡橋町1210  
TEL.0853-22-5530 FAX.0853-22-5531

### (株)ニッタ

〒697-0037 浜田市新町11-3  
TEL.0855-23-1141 FAX.0855-23-1145

## ■広島県

### (株)ナカオカ

〒730-0033 広島市中区堀川町5-10  
TEL.082-246-7788 FAX.082-246-4300

### 宝石時計の麻生

〒720-0043 福山市船町1-1  
TEL.084-926-2538 FAX.084-931-2911

## ■山口県

### (株)山本時計店

〒753-0043 山口市宮島町8-4  
TEL.083-924-3210 FAX.083-924-3218

### (株)ジュエルセブン

〒750-0025 下関市竹崎町4-4-8  
TEL.083-235-0123 FAX.083-261-1377

## ■徳島県

### (株)池田時計店

〒770-0904 徳島市新町橋1-11  
TEL.088-622-2770 FAX.088-623-4194

### (株)ハラダ

〒770-0912 徳島市東新町1-21  
TEL.088-622-6872 FAX.088-655-1236

### (株)ヨシイ時計店

〒772-0003 鳴門市撫養町小桑島字前浜23-9  
TEL.088-685-3589 FAX.088-685-8866

### (株)ジュエリーピコ

〒771-0212 板野郡松茂町中喜来字前原東5-9-2  
TEL.088-699-3339 FAX.088-699-6669

## ■香川県

### (株)柿屋

〒760-0040 高松市片原町9-7  
TEL.087-821-5440 FAX.087-821-5447

### (有)はなや

〒760-0051 高松市南新町1-2 松永ビル  
TEL : 087-873-2682 FAX : 087-873-2683

## ■高知県

### (株)大西時計店

〒780-0841 高知市帯屋町1-13-20  
TEL.088-823-0024 FAX.088-823-0025

## ■愛媛県

### 桜産業(株)

〒790-0012 松山市湊町3-8-5  
TEL.089-941-7111 FAX.089-941-7115

### (有)ササキ時計店

〒794-0015 今治市常盤町2-6-1  
TEL.0898-32-2126 FAX.0898-32-2124

### (株)木藤時計店

〒798-0040 宇和島市中央町1-5-7  
TEL.0895-25-2255 FAX.0895-24-5109

## ■福岡県

### (株)ジャパングールド

〒814-0001 福岡市中央区天神2-9-103  
TEL.092-771-8200 FAX.092-761-8361

### ギンザ タナカ

### 福岡西鉄グランドホテル店

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-60  
西鉄グランドホテル1F  
TEL.092-712-4143 FAX.092-712-4166

### 石福金属興業(株)九州営業所

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-11-15  
小倉興産7号館  
TEL.093-531-9331 FAX.093-551-7548

### (株)小林時計店

〒802-0006 北九州市小倉北区魚町1-3-6  
TEL.093-521-0013 FAX.093-522-7735

### (株)ナカノ

〒802-0006 北九州市小倉北区魚町2-3-22  
TEL.093-521-0453 FAX.093-521-9575

### ゴールド アンド アサヒ

〒830-0032 久留米市東町34-67  
TEL.0942-37-3802 FAX.0942-37-3803

## ■長崎県

### (有)和光

〒850-0901 長崎市本石灰町1-7  
TEL.095-821-6363 FAX.095-827-7431

### (資)山之内時計眼鏡店

〒855-0804 島原市万町500  
TEL.0957-62-3003 FAX.0957-64-3003

### ゴールドジュエリー タナカ

〒857-0875 佐世保市下京町4-21  
TEL.0956-23-8084 FAX.0956-23-8087

## ■佐賀県

### (株)ニシムラ

〒840-0824 佐賀市呉服元町2-20  
TEL.0952-22-6781 FAX.0952-24-5773

## ■熊本県

### ジュエラーキヨタ本店

〒860-0845 熊本市中央区上通町7-3  
TEL.096-324-1010 FAX.096-324-6501

### (有)恒松時計店

〒868-0501 球磨郡多良木町大字多良木555-2  
TEL.0966-42-2382 FAX.0966-42-6567

## ■宮崎県

### 日高本店

〒880-0001 宮崎市橘通西3-10-24  
TEL.0985-26-1101 FAX.0985-26-1024

## ■鹿児島県

### (有)共立時計店

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4185  
TEL.099-268-3061 FAX.099-260-1444

## ■沖縄県

### (株)鉢嶺本店

〒900-0006 那覇市おもろまち4-3-8  
TEL.098-860-6777 FAX.098-860-3775

### (株)山城時計店

〒900-0015 那覇市久茂地3-3-2  
TEL.098-867-3093 FAX.098-861-7074



# 賛助会員

## ■鉱山

### 住友金属鉱山(株)

〒105-8716 東京都港区新橋5-11-3  
新橋住友ビル3F  
TEL.03-3436-7841

### 中外鉱業(株)

〒100-6312 東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング 12F  
TEL.03-3201-1542

### 東邦亜鉛(株)

〒100-8207 東京都千代田区丸の内1-8-2  
鉄鋼ビルディング6F  
TEL.03-6212-1711

### DOWA メタルマイン(株)

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1  
秋葉原UDXビル22F  
TEL.03-6847-1204

### 日鉄鉱業(株)

〒100-8377 東京都千代田区丸の内2-3-2  
郵船ビル6F  
TEL.03-3216-5265

### 日本鉱業協会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町  
3-17-11 榮葉ビル8F  
TEL.03-5280-2321

### 古河メタルリソース(株)

〒100-8370 東京都千代田区丸の内2-2-3  
丸の内仲通りビル3F  
TEL.03-3212-6840

### 三菱マテリアル(株)

〒101-8338 東京都千代田区内神田2-16-11  
内神田渋谷ビル9F  
TEL.03-5298-3851

### パンパシフィック・カッパー(株)

〒100-8147 東京都千代田区大手町1-1-2  
JXビル18F  
TEL.03-6257-7584

## ■商社

### 住商マテリアル(株)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4-3  
神田スクエアフロント4F  
TEL.03-5280-9260

### 三井物産(株)

〒100-8631 東京都千代田区丸の内1-1-3  
TEL.03-3285-1111

### 三菱商事RtMジャパン(株)

〒100-7027 東京都千代田区丸の内2-7-2  
JPタワー27F  
TEL.03-5221-1770

### 双日(株)

〒100-8691 東京都千代田区内幸町2-1-1  
飯野ビル24F  
TEL.03-6871-2327

### ヘレウス(株)

〒112-0012 東京都文京区大塚2-9-3  
住友不動産音羽ビル 5F  
TEL : 03-6902-6550

## ■装身具

### 日本貴金属製鎖工業組合

〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2  
オーラム505号室  
TEL.03-3836-1704

### (一社)日本ジュエリー協会

〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25  
TEL.03-3835-8567

### 日本貴金属協同組合

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-29-6  
TEL.03-3803-5535

### 中川装身具工業(株)

〒111-0052 東京都台東区柳橋1-29-7  
TEL.03-3861-2111

## ■その他

### (株)ADI.G

〒920-0841 石川県金沢市浅野本町1-10-10  
TEL.076-251-0115

### (株)シラネ

〒460-0012 名古屋市中区千代田2-4-8  
TEL.052-261-4636

### 鈴木貴金属化工(株)

〒332-0001 埼玉県川口市朝日4-21-52  
TEL.048-222-3450

### (株)東京貴金属地金店

〒110-0005 東京都台東区上野5-21-7  
TEL.03-3836-0050

### (株)八木橋

〒360-0047 埼玉県熊谷市仲町74  
TEL.048-523-1111

### (株)吉井商店

〒920-0902 石川県金沢市尾張町1-10-30  
TEL.076-221-1678

### (株)MARUWA

〒488-0044 愛知県尾張旭市  
南本地ヶ原町3-83  
TEL.0561-51-0841

**GOLD**  
&  
**PLATINUM**  
2020 No.41

発行日：2020年9月30日  
発行人：田苗 明  
編集人：南澤 正孝

発行：一般社団法人 日本金地金流通協会  
Japan Gold Metal Association

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-9 第2桐治ビル2F  
TEL.03-5207-5371(代表) FAX.03-3254-8663  
<http://www.jgma.or.jp>

本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。

## 安心・安全な取引は、協会加盟店で

一般社団法人日本金地金流通協会は、各種の広報活動を通じて

金・プラチナの正しい知識の普及に努めています。

金・プラチナの地金、コイン、ジュエリーなどのお取引やお問い合わせは、

信頼ある当協会会員各社のご利用をお勧めします。



## 一般社団法人 日本金地金流通協会

Japan Gold Metal Association

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-9 第2桐治ビル2F

TEL.03-5207-5371 (代表)

[www.jgma.or.jp](http://www.jgma.or.jp)



ワールド ゴールド カウンシル

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-20-709



プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社

〒100-8575 東京都千代田区内幸町1-1-1  
帝国ホテル本館 5F-506